仙台市文化財調査報告書第143集

年　報　11

平成元年度

平成2年3月

仙台市教育委員会

仙台市文化財調査報告書第143集

年　報　11

平　成　元　年　度

平成２年３月

仙　台　市　教　育　委　員　会

序　　文

まもなく21世紀をむかえようとしている今日、仙台市はこの４月、政令指定都市の仲間に加わりました。市民生活の一層の発展を目指していくわけでありますが、その中でも私共としては、生涯学習の充実という大きな課題があります。それは、より開かれた舞台における展開が期待されると同時に、社会の激しい変化に対応していくものが求められています。

このような時、文化財は、貴重な存在となっています。教育委員会の職務権限の中に「文化財の保護に関すること」とありますが、これは単なる保存・管理ではありません。整備・活用し、市民生活の中で充分に生きていくものであります。そのような考えのもとに、以下に報告するような事業を実施してまいりました。各種の講座・講演会・現地説明会に出席されています皆様のお顔を拝見しますと、いつも生き生きと輝いています。これからも、そのような市民の皆様の要望に十分答えるべく、開かれた文化財としての努力をしていきたいと考えております。

市民の皆様のさらなるご支援並びにご助言をお願い申し上げ刊行のご挨拶といたします。

平成２年３月

仙台市教育委員会

教育長　藤井　　黎

目　　次

序言
目次
例言
1．管理係関係事業報告……1
2．調査係関係事業報告……5
3．普及啓蒙関係事業報告……21
4．新規登録の遺跡……25
5．仙台市内にある指定文化財一覧表……27
職員録
仙台市文化財調査報告書刊行目録

例　　言

1．本書は仙台市教育委員会社会教育部文化財課が、平成元年度に実施した保護管理、調査、普及啓蒙に関する各事業に関する年度報告書である。

2．本書の地形図は、建設省国土地理院発行五万分の一「仙台」、「川崎」を使用したものである。

3．執筆は、各調査員が担当し、本書の編集は全員の協力をもとに、佐藤隆が担当した。

1．管理係関係事業報告

(1) 一般文化財

① 文化財保護委員会の開催・文化財の指定

定例会（隔月偶数月）6回を開催。有形文化財（彫刻）4件、有形民俗文化財1件を仙台市の文化財に指定した（下記の写真）。

この結果、仙台市指定文化財は77件となった。

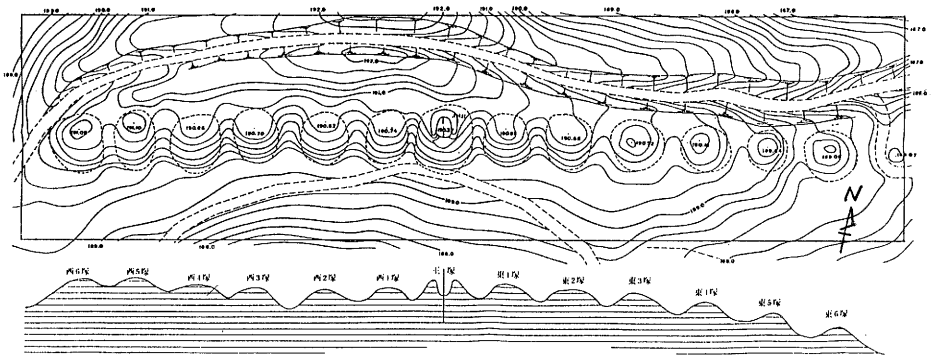
木造毘沙門天立像
（大梅寺）

木造宝冠釈迦如来坐像
（壽徳寺）

木造釈迦如来立像
（大梅寺）

木造安国上人坐像（真福寺）

上前十三塚（小池政次郎）



上前十三塚・実測図（概略）

② **文化財パンフレットの作成**

- ○第15集富沢を探る（増刷）10,000部
- ○第18集郡山遺跡　4,000部
- ○第19集第12回文化財展　2,000部
- ○第16集宮城地区文化財めぐり（増刷）1,000部
- ○第20集泉の文化財（増刷）2,500部
- ○第21集辻標のしおり　2,000部
- ○第22集仙台の民俗芸能Ⅲ　3,000部
- ○民俗芸能①・②　各3,000部

③ **設明板、標柱の設置**

標柱　・弁財天堂

説明板・桜田良佐の墓（根白石：再建）・細谷地蔵（龍雲院：再建）・半子町のフジ（修理）・扇坂（修理）・林子平（移設）・陸奥国分寺跡（再建）・イロハモミジ（賀茂神社：再建）・松森焔硝蔵（文字直し）・秋保地区所在説明板（文字直し）

④ **辻標の設置**

5基を設置した。今年度までで69基となった。（設置町名・通名：亀岡町／山屋敷、東八番丁／八ツ塚、虎屋横丁／糠蔵丁、土樋／姉歯横丁、荒町／石垣町）

⑤ **文化財めぐり、講座、文化財展等の開催**

市民の文化財に対する理解と認識を深め、あわせて文化財愛護思想の高揚を図るため、各種行事を開催した。

実施月日	行事名	会場	講師等	参加者	内容
7月30日(日) 8月20日(日)	親子体験学習 「土器作りにチャレンジしよう」	富沢30次整理事務所及び山田上ノ台		親子24組	土器作り、縄文食体験、石器作り
8月22日(火)	親子文化財めぐり 「新たに仙台市となった地域の文化財を訪ねる」		逸見　英夫氏 （郷土史）	親子83名	秋保・宮城・泉地区の文化財めぐり（秋保大滝・諏訪神社・賀茂神社・高柳遺跡など）
12月4日 ～12月9日	考古展　甦る城柵－郡山遺跡発掘10年－	本庁舎企画展示室		921名 （見学者）	郡山遺跡発掘10年を記念し、その成果を写真パネルや出土遺物を用いて公開

実施月日	行　事　名	会　場	講師等	参加者	内　容
12月4日(月)	講演「郡山遺跡と陸奥国」	141セミナーホール	桑原　滋郎氏（多賀城跡調査研究所長）	120名	陸奥国の建国当時の様相を知る鍵となる郡山遺跡について調査の成果を踏まえ平易に解説
2月17日(土)	トーク＆スライド「木ごころをしる」	中央公民館会議室	中川　重年氏（神奈川県林業試験場）	40名	木との関わりから生まれた生活文化についての講座
2月25日(日)	民俗芸能のつどいパート4「こころ・つたえる－子どもたちの伝承する芸能・勢揃い」	141スタジオホール	千葉　雄一氏（宮城県文化財保護委員）	200名	湯元・長袋・馬場・新川の各田植踊保存会 川前の鹿踊・剣舞保存会・宮城教育大学舞踊研究会
3月4日(日)	トーク＆トーク「屋敷林の今・昔」	中央公民館第2セミナー室	逸見　英夫氏（郷土史） 岩崎　真幸氏（東北学院大学助教授） 結城登美雄氏（タスデザイン室）	60名	歴史的にあるいは民俗学的に見た屋敷林の特徴と役割をスライドなどを用いてわかりやすく紹介、屋敷林の昔と今、そしてこれからを考える講座
3月27日(火)	公開フォーラム「都市のゆくえ－歴史的景観からみた仙台」	141セミナーホール	小林　敬一氏（東京大学助手） 阿部　和彦氏（東北大学助手） 結城登美雄氏（タスデザイン室）	70名	歴史的環境が都市においてはたしている役割を考え、その保全の意義と可能性を探るフォーラム
3月17日～3月31日	写真展「都市のゆくえ－歴史的景観からみた仙台」	141展示ギャラリー			仙台の昔と今、現在の仙台の特徴的な写真30枚を展示

⑥文化財分布調査

泉地区遺跡詳細調査、岩切地区地名調査を実施した。

⑦　無形民俗文化財記録保存

市内に伝承されている民俗芸能等についての記録作成及び伝承者・団体の意識高揚に資するため、民俗芸能のつどいのビデオ撮影を実施した。

⑧　指定文化財の維持管理

陸奥国分寺、国分尼寺、山田上ノ台遺跡、三沢初子の墓、遠見塚古墳、松森焔硝蔵などの除草、清掃を委託により実施した。

⑨　文化財の防災点検

第36回文化財防火デーに当たり、1月26日を中心に防災訓練12ケ所、特別査察20ケ所、広報活動（文書送付）34件をそれぞれ実施した。

⑩　その他

仙台城跡自然環境総合調査を実施した。調査成果を「仙台城趾の自然」として刊行した。歴史文化に関する景観保全計画を策定した。

(2) 補助事業

① 陸奥国分寺土地買上事業

陸奥国分寺跡の保護活用を図るため、史跡地内の土地952.14㎡(4件)を買収した。これにより史跡地内における買上げ実績は指定面積の25.7%となった。

② 有形文化財建造物補助事業

賀茂神社屋根葺き替え、大崎八幡神社、東照宮、薬師堂の防災設備保守点検、白山神社防災設備修理、大満寺虚空蔵堂防災設備設置などの事業に対して補助を行なった。

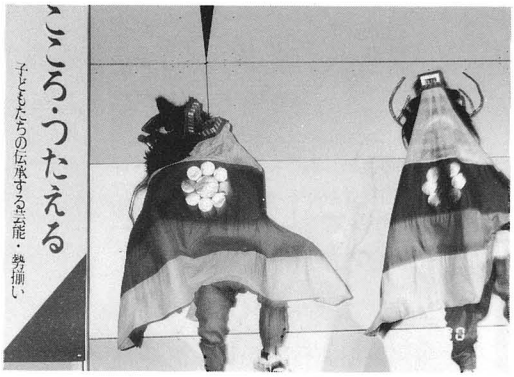
③ 無形文化財技術保持補助事業

精好仙台平の技術保持者甲田綏郎氏に対して補助を行なった。

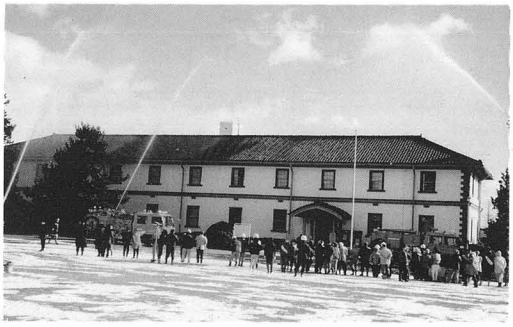
④ 無形民俗文化財補助事業

大崎八幡神社能神楽、愛子・新川・芋沢・下倉・湯元・長袋・馬場・大倉・大沢の各田植踊、川前・福岡・上谷刈の各鹿踊・剣舞、野口の鹿踊、滝原の顕拝、馬場愛宕神社神楽、以上16の民俗芸能の保存会に対して補助を行なった。

好天に恵まれた親子文化財めぐり



子供たちが主役だった民俗芸能のつどい



文化財防火デーの消火訓練

公開フォーラム「都市のゆくえ」

2．調査係関係事業報告

平成元年度発掘調査事業は、国庫補助事業として(1)郡山遺跡、(2)仙台平野の遺跡群の発掘調査がある。自主事業として(3)高柳遺跡他７件の発掘調査がある。受託事業として(4)土手内遺跡他23件の発掘調査がある。整理作業及び報告書刊行として７件がある。

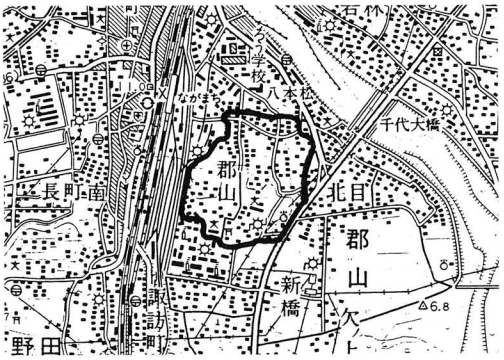
発掘調査の概要については、以下にまとめてある。詳細については、おのおのの遺跡の仙台市文化財調査報告書として刊行していくので、報告書を参照していただきたい。

平成元年度発掘調査概要

No.	遺跡名	時代	種別	調査面積	調査期間	調査員	報告書	事業別
1	郡山遺跡	古墳～奈良	官衙跡	1,620㎡	6/12 ～12/18	木村、高倉	133集	国庫補助
2	陸奥国分寺跡	奈良	寺院跡	300㎡	11/17～12/27	斎野	134集	〃
3	王ノ壇古墳他	縄文～中世	古墳他	4,400㎡	6/5 ～12/27	小川、渡部(紀)		自主事業
4	中在家南遺跡他	弥生～近世	河川跡他	1,100㎡	4/10 ～11/17	工藤(哲)、荒井		〃
5	郡山遺跡	古墳～中世	官衙跡他	1,250㎡	8/7 ～12/22	金森、長島		〃
6	大原館跡他	縄文～中世	館跡他	920㎡	5/8 ～ 6/27	斎野、高倉		〃
7	山田条里跡	平安	水田跡	3,100㎡	6/15 ～12/26	渡部(弘)、佐藤(淳)		〃
8	高柳遺跡	縄文～近世	遺物包含地	1,500㎡	4/22 ～10/21	佐藤(好)、工藤(信)		〃
9	茂庭けんとう城跡他	〃	集落跡他	2,600㎡	4/10 ～ 8/4	金森、長島、佐藤(淳)	137集	〃
10	土手内遺跡他	古墳～奈良	〃	45,600㎡	4/17 ～11/13	熊谷、主浜		受託事業
11	富沢・山口遺跡	弥生～近世	水田跡他	1,100㎡	4/13 ～ 12/1	太田、佐藤(甲)、中富佐藤(淳)	135集	〃
12	富沢遺跡	〃	水田跡	1,800㎡	4/25 ～12/15	平間、佐藤(甲)、渡辺		〃
13	郡山遺跡	古墳～平安	官衙跡他	250㎡	7/13 ～ 9/15	斎野		〃
14	郡山遺跡	弥生～古墳	〃	650㎡	9/16 ～ 12/4	斎野		〃
15	大野田古墳群	古墳	畠跡他	600㎡	10/25～12/27	主浜	138集	〃
16	南小泉遺跡	縄文～平安	集落跡他	300㎡	11/13～12/12	佐藤(淳)	141集	〃

［1］郡山遺跡（第83次調査）

（国庫補助事業）



1．調 査 地　仙台市若林区郡山三丁目127他

2．調査期間　平成元年６月12日～12月18日

3．調査面積　1,620㎡

4．調 査 員　木村浩二、高倉祐一

5．調査の概要

今年度は第２次５ケ年計画の最終年度にあたり、昨年度に引き続き、Ⅰ期官衙の中枢部分の遺構確認を目的として第83次調査を計画した。本調査区はこれまで、第３次（昭和55年）、第24次（昭和57年）、第77次（昭和63年）の各調査が実施され、Ⅰ期官衙の中枢建物やそれに続く倉庫群等の他、時期不明の石敷跡などが発見されていた。今回の調査は第３次調査区を含む約1,620㎡を対象に実施した。

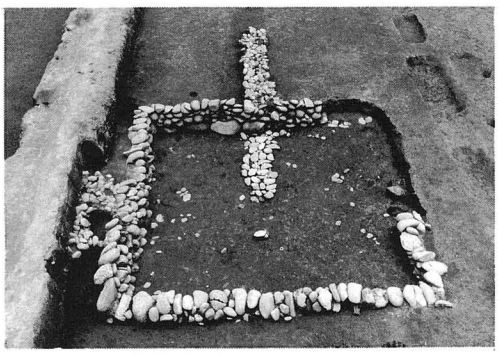
調査の結果、次のようなことが明らかになった。

(1)　Ⅰ期官衙の板塀は114.5m以上にわたって続いており、官衙内部を区画していたものと考えられる。板塀の北側には総柱構造の倉庫建物群が発見された。

(2)　Ⅱ期官衙の建物は四面に廂のつく建物で、外郭南門の中央を通る官衙中軸線上に位置し、桁行８間（身舎６間）、梁行５間（身舎３間）の規模を持つ。この建物は政庁推定域内に位置し、最も大規模で、政庁中心殿舎の正殿と考えられる。

(3)　政庁正殿の北側には広範囲な石敷施設や石組池がみられ、官衙内にあって極めて重要な政務・儀礼などが行なわれたものと考えられる。石組池は東北地方の城柵官衙ではこれまで発見例がなく、具体的な機能は不明であるが、７世紀中頃の宮殿跡とみられている飛鳥石神遺跡で同様の石組池が発見されている。

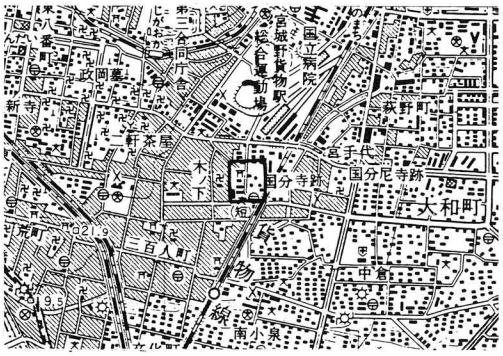
南３区ＳＢ1250四面廂建物跡（南より）



南２区ＳＸ1235石組池（南より）

［2］陸奥国分寺跡

（国庫補助・仙台平野の遺跡群）



1．調 査 地　仙台市若林区木ノ下三丁目76

2．調査期間　平成元年11月17日～12月27日

3．調査面積　288.5㎡

4．調 査 員　斎野裕彦

5．調査の概要

陸奥国分寺跡は仙台市東部の若林区木ノ下二丁目、三丁目に所在し、ＪＲ仙台駅の東南東約2kmにある。今回の調査は塔跡南地区の遺構確認のため行なわれた。

検出された遺構は土坑５基（ＳＫ１～５）、性格不明遺構１基（ＳＸ１）であり、出土遺物からＳＫ５を除き、陸奥国分寺に関わる時期のものと考えられる。

遺構及び調査区内から出土した遺物の総数は8,083点であり、その内訳は土師器10点、須恵器７点、赤焼土器１点、瓦8,065点で、大半を瓦が占めている。

瓦の種類と出土点数は以下の通りである。

軒丸瓦：総数32点。内訳は重弁蓮華文13、宝相華文２、細弁蓮華文２、小破片15である。

軒平瓦：総数36点。内訳は重弧文２、偏行唐草文11、均整唐草文２、連珠文６、山形文４、細線波文２、篦書文２、小破片７である。

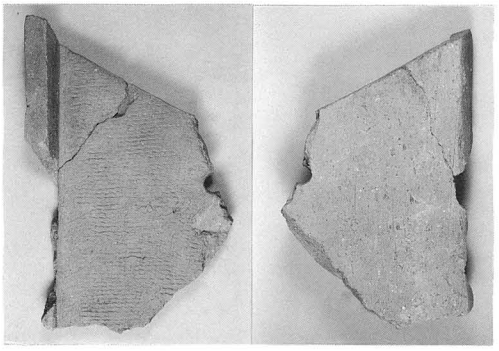
平　瓦：総数4,764点。ほとんどは一枚作りにより製作されている。

丸　瓦：総数2,633点。全て、粘土紐巻き作りにより製作されている。

道具瓦：総数17点。内訳は面戸瓦７、隅切り瓦７、熨斗瓦２、隅木蓋瓦１である。

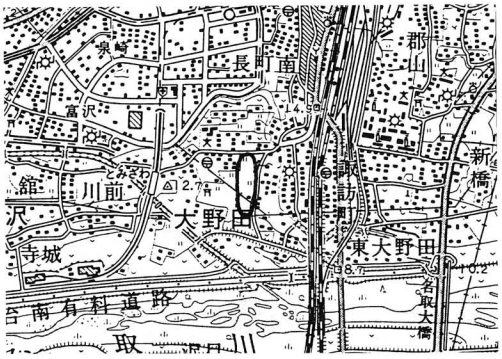
文字・記号瓦：総数54点。内訳は刻印瓦４点、指書き・ヘラ書き瓦50点である。

ＳＫ１瓦出土状況



隅　木　蓋　瓦

［3］王ノ壇遺跡・王ノ壇古墳・大野田5号墳



1．調 査 地　仙台市太白区大野田字王ノ壇7他
（都市計画街路・川内柳生線予定地）
2．調査期間　平成元年６月５日～12月27日
3．調査面積　4,400㎡
4．調 査 員　小川淳一、渡部　紀
5．調査の概要

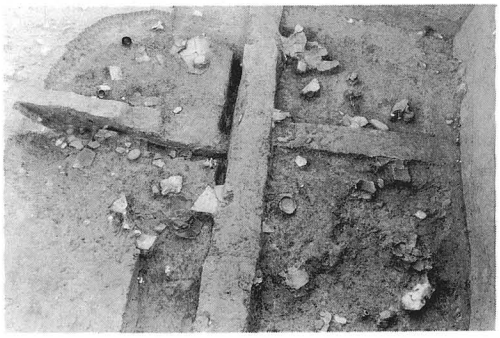
南よりⅠ～Ⅳ区の調査区を設定し、本年度はⅠ・Ⅲ・Ⅳ区を調査した。

Ⅰ区：中世の方形周溝遺構、王ノ壇古墳の周溝、縄文時代の土坑・遺物包含層が検出された。方形周溝は約12m×10mの長方形で溝幅は約３m、深さ約40cmである。溝の堆積土中には多量の円礫が混じっていた。出土遺物には、埴輪・中世陶器・青磁・銭貨・骨片がある。中央部に施設は認められなかった。王ノ壇古墳周溝は、幅約５m、深さ最大1.0mである。低面近くより円筒埴輪が２点出土している。同溝の調査の結果、王ノ壇古墳は最大径27mと考えられる。縄文時代の遺物包含層と土坑は、後期の宝ケ峯式と金剛寺式のものである。特に、１号竪穴遺構からは宝ケ峯式期の良好な一括資料が出土している。

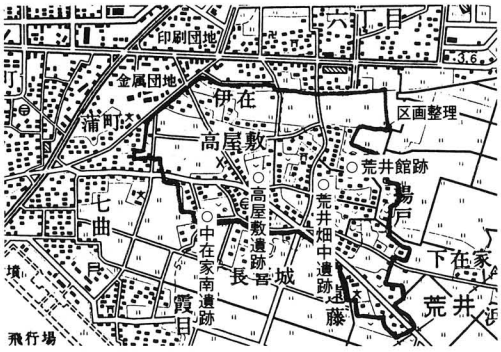
Ⅲ区：建物跡、小溝状遺構、古墳、土坑が検出された。建物跡は少なくとも７棟以上が想定される。うち１棟は２間×２間の建物の周囲に幅約90cm、深さ約20cmの溝を巡らせている。円墳（大野田５号墳）の周溝は幅約２m、深さ約60cmで、直径約16mである。主体部は削平されている。溝中より円筒埴輪３点、朝顔形埴輪３点が出土している。

Ⅳ区：全面より小溝状遺構が検出され、一部はⅢ区にのびている。溝幅平均50cm、深さは30cm程度のものと、20cm程度の２種類がある。溝間は50cm～１mで、溝の方向はN15°Wである。溝中の遺物は非ロクロ土師器片である。他に、溝より新しい時期の柱穴を多数検出した。

王ノ壇古墳と方形周溝（東より）


Ⅰ区１号竪穴遺構遺物出土状況（北より）

［4］中在家南遺跡他



1．調 査 地　仙台市若林区荒井
（仙台市荒井土地区画整理事業施工地内）

2．調査期間　平成元年４月10日～11月17日

3．調査面積　1,032㎡（10地点合計）

4．調 査 員　工藤哲司、荒井　格

5．調査の概要

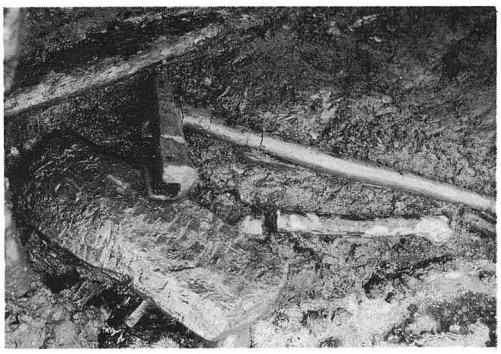
本年度は荒井土地区画整理関係遺跡調査の２年次として、中在家南遺跡・高屋敷遺跡・荒井畑中遺跡・荒井館跡で調査を実施した。

中在家南遺跡では、前年度に着手したⅡ区（河川跡）の継続調査を行い、弥生時代の狭鍬・斧柄など多数の木製品を得た他、新たに自然堤防上にかかる６ｍ街路にⅢ・Ⅳ・Ⅴ区の各区を設定し、調査を実施した。中在家南遺跡Ⅲ区は95㎡を調査し、土坑16基・溝８条・竪穴住居跡の柱穴の可能性のある建物１棟・ピット14個・その他の遺構３基を検出した。Ⅳ区は67㎡を調査し、土坑12基・溝６条・土器棺墓（弥生時代中期桝形囲式期）１基・ピット２個等を検出した。土坑のうち、４基は土壙墓と考えられ、１基から扁平片刃石斧１点・ノミ形石斧１点・管玉12点・石鏃３点が出土している。土壙墓の時期は、出土土器と土器棺墓等との関連から弥生中期（桝形囲式期）に位置付られる。Ⅴ区は160㎡を調査し、土坑３基・溝１条・その他の遺構３基を検出した。またⅢ区とⅣ区の間の自然堤防上で４トレンチ合計300㎡の試掘を実施したがⅡ区木製品の関連する集落も、Ⅳ区以西で弥生時代の墓を検出することも出来なかった。

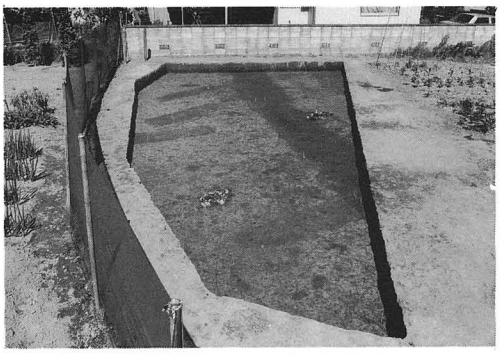
高屋敷遺跡は88㎡を調査し、古墳時代（南小泉式期前後）の遺物包含層の上面と下層から合せて土坑18基・溝６条・ピット17個・その他の遺構５基を検出した。

荒井畑中遺跡は92㎡を調査し、土坑18基・溝６条・ピット17個等を検出した。

荒井館跡は32㎡を調査したが、時期不明の土坑１基・溝１条が検出されただけである。

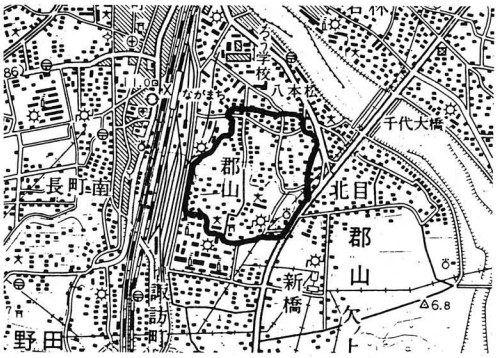


中在家南遺跡Ⅱ区XV層（弥生時代中期）



中在家南遺跡Ⅳ区遺構検出状況

［5］郡山遺跡（第65次調査）



1．調 査 地　仙台市太白区郡山五丁目10－1
（郡山中屋体・柔剣道場予定地）
2．調査期間　平成元年８月７日～12月22日
3．調査面積　1,250㎡
4．調 査 員　金森安孝、長島榮一
5．調査の概要

郡山中学校の体育館建設に伴う事前調査で、校舎新築の際の調査と一連のものとし第65次調査Ｎ区とした。調査地は郡山遺跡内の南東部、Ⅱ期官衙外郭より80ｍ程離れた南前面にあたる。調査の結果、Ⅲ層上面より平安時代終りから中世にかけての水田、溝跡などを、Ⅳ層上面で、Ⅱ期官衙と同時期と考えられる掘立柱建物跡２棟の他、竪穴住居跡２軒、土壙12基、溝跡29条を発見した。掘立柱建物跡について略述すると、ＳＢ1306建物跡；桁行10間（柱間寸法220～250cm、総長23.7ｍ）、梁行２間（柱間寸法250～265cm、総長5.2ｍ）の東西棟で、方向はＷ－0°－Ｅである。建物の東、西、南には柱掘り方より90～115cm離れて、幅15～55cm程の溝跡がめぐっている。

ＳＢ1191建物跡；桁行５間以上（柱間寸法250～270cm、総長13.0ｍ以上）、梁行２間以上（柱間寸法270cm）の東西棟で、方向はＥ－2°－Ｓである。周囲には柱掘り方より120～140cm離れて、幅30～150cm程の溝がめぐっている。

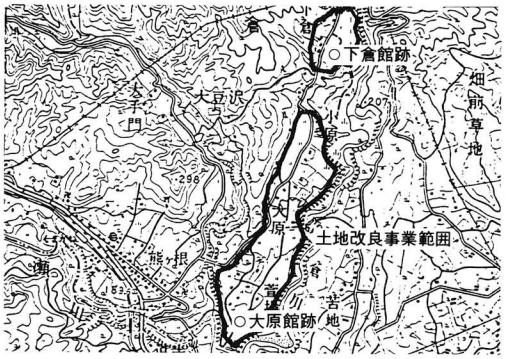
ＳＢ1306建物については、桁行が10間、全長23.7ｍと長大で、これまで郡山遺跡で発見された建物跡の中では最大規模である。当市教育委員会では発見された遺構の重要性を踏まえ、遺構を保存することとし、体育館の配置を変更した。それによって平成２年度に追加調査（900㎡）を実施する予定である。

65次調査Ｎ区全景（南より）

ＳＢ1306掘立柱建物跡
（２間×10間・西より）

［6］大原館跡・萱場遺跡・下倉館跡他

（大倉地区遺跡範囲確認調査）



1．調 査 地　仙台市青葉区大倉字大原、下倉

2．調査期間　平成元年５月８日～６月27日

3．調査面積　約920㎡

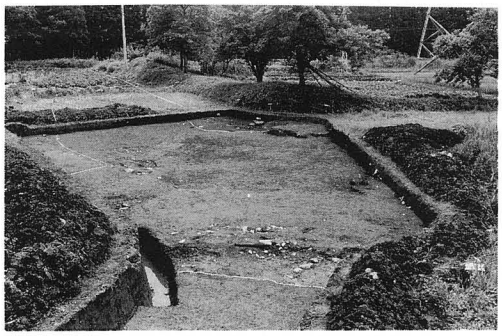
4．調 査 員　斎野裕彦、高倉祐一

5．調査の概要

大倉地区は仙台市の北西、広瀬川の支流である大倉川と豆沢川に挟まれる河岸段丘上に位置している。仙台市教育委員会では仙台市大倉地区土地改良事業計画（平成元年度分）により、周知の遺跡（大原館跡、萱場遺跡、下倉館跡）の破壊が予想されるため、大原地区の一部と下倉地区の遺跡範囲確認調査を行った。この事業は５ケ年計画の１年目で、今年度の対象面積は約10haである。調査は排水路部分と館跡に関する現在見られる遺構を主な調査対象とし、計21ケ所にトレンチを設定して行った。今回の調査で確認された遺構は、主に大原館と下倉館に関する土塁と堀である。

大原館跡は現在部分的に土塁と堀が辛ろうじて形を留めているが、調査の結果、この土塁は三重で、その間に二重の堀が東西方向に、平行に走っていることが確認された。また中央の土塁の積み土からは弥生土器が数点出土した。なおここから東へ約100ｍの地点で多量の縄文土器片（中期）が出土している。

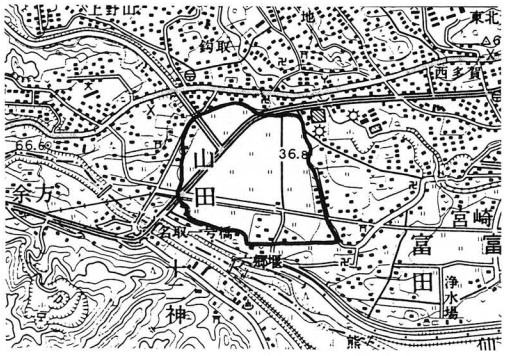
下倉館跡も現在北側と西側に鉤形の土塁が残っているが、調査の結果、この土塁と平行して幅約８ｍ、深さ約２ｍの堀が東西に走り、土塁と同様南に曲がることが確認された。他の地点では多少の縄文土器片（早期）、土師器片（平安）が出土している。



下倉館跡　堀と土塁

大原館跡　堀と土塁

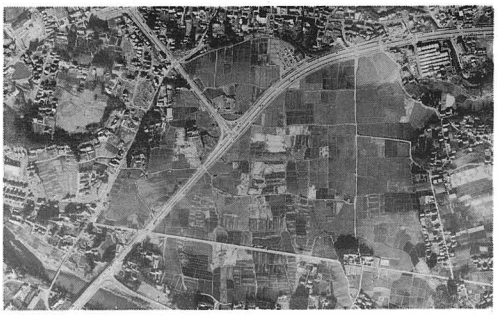
［7］山田条里遺構

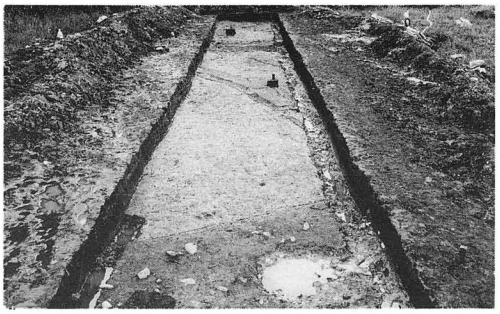


1．調 査 地　仙台市太白区山田字新田堀下北他（農村基盤総合整備事業施工地内）
2．調査期間　平成元年６月15日～12月26日
3．調査面積　約3,060㎡
4．調 査 員　渡部弘美、佐藤　淳
5．調査の概要

山田条里遺構は仙台市西部の山田・鈎取地区に所在する、条里型土地割が現水田面に看取される遺跡である。標高31～37m前後の北西から南東へかけてゆるく傾斜する面（中町段丘に比定）に立地している。水田を区画する地割りの畦が東西方向で５条、南北方向に４条確認できる。地割りの単位は約110mを計り、方向がほぼ真北を向く方形のものである。今回、当地区において農村基盤総合整備事業（圃場整備）が実施されることになり、当遺構のほぼ全域が事業地内に含まれ地下遺構及び景観が改変される事態が生じた。事業は３ケ年計画で実施され今回が初年度の調査にあたる。対象面積は約10haである。

調査はトレンチ方式で排水路部分全域を実施した。対象地域が広範囲なため統一的な基本層序は認定できなかったが、北側の調査区では４枚の水田土壌（Ⅱ・Ⅲa・Ⅲb・Ⅲc層）を検出した。畦畔は確認できなかったが、3a層面では幅50cm程の溝を８条検出（真北から西へ30度程傾く）し、水路の性格が考えられる。3a・3b層には灰白色火山灰が含まれ、ロクロ使用の土師器片が出土している。南側端部の調査区では水路を伴う３枚の水田跡（Vb・Vc・Ⅶ層）を確認している。両側が傾斜面となる狭隘な地点で畦畔は地形に沿って形成されている。遺物は出土していないが層中に灰白色火山灰が含まれ、Ⅲa・Ⅲb層同様平安時代に位置づけられよう。他の遺講として微高地面に溝・土坑等がある。


山田条里遺構航空写真


トレンチVc層水田跡全景

［8］高柳遺跡

1．調 査 地　仙台市泉区七北田字高柳地内
（高速鉄道南北線延伸予定地）

2．調査期間　平成元年４月22日～10月21日

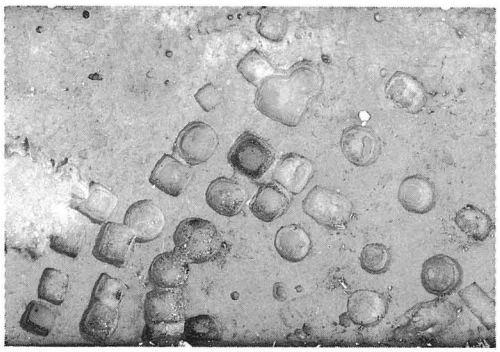
3．調査面積　1,500㎡

4．調 査 員　佐藤好一、工藤信一郎

5．調査の概要

高柳遺跡は七北田川右岸の河岸段丘上にあり、標高は22m程である。今回の調査は高速鉄道南北線延伸工事にかかる路線部分を対象としている。現状は北側が水田のほかは屋敷林で、今回の調査区は東西の微高地に挟まれた、北から南に走る小さな沢状の部分にあたる。

調査の結果、大木８a･b式を主体とする良好な遺物包含層が約1,000㎡にわたって検出されたほか、江戸時代前半の屋敷墓32基が検出された。北側の水田域には包含層が検出されず、平安の住居跡４軒・土壙２基・平安以降の溝８条・縄文中期の土壙36基が検出された。包含層は第Ⅲ～Ⅴ層にわかれ、安定した堆積状態を示している。1,000箱をこえる遺物は現在整理中であるが、第Ⅲ・Ⅳ層については大木8bを、第Ⅴ層については大木8aを主体とする傾向が認められる。主な遺物としては、土偶30数点・土笛？２点・三角壕形土製品などのほか、石鏃・石匙・石篦・凹石・磨石等の石器も大量に出土している。屋敷墓は第Ⅱ層中から検出され、上面には河原石が敷きつめられたように配されており、そのなかにほぼ円形の石組の単位が認められた。墓壙はその石組の下に、円形あるいは方形に掘りこまれており、一部の墓壙には棺の底部が残存していた。墓壙はほぼ方形に配されており、重複関係はほとんど認められない。墓石の調査から、この屋敷墓は調査区東側の川島家のもので、寛永３年(1626)～安永４年(1775)にかけて作られたことがわかった。副葬品には、寛永通宝130枚・煙管・櫛・数珠玉・和鏡等がある。


屋 敷 墓 全 景

包含層調査風景

［9］茂庭けんとう城・東館跡

1．調 査 地　仙台市太白区茂庭字生出前
2．調査期間　平成元年４月10日～８月４日
3．調査面積　2,600㎡
4．調 査 員　金森安孝、長島榮一、佐藤　淳
5．調査の概要

昭和63年８月、仙台市ガス局ガスホルダーの新設工事に伴う発掘通知の提出に基づき、調査区内の立木を伐採し、地形測量・試掘調査を実施した。その結果、土塁・道状遺構等を確認し、敷地面積10,267㎡の内、造成工事によって削平を受ける2,600㎡について発掘調査を実施した。

調査の結果、縄文時代後期の住居跡１軒、土壙22基、溝状遺構３基、土塁１基、江戸時代後期の堤１基、性格不明遺構４基を検出した。

住居跡は、4.0×3.4mほどのほぼ円形のプランで、直径75cmの石囲炉を有し、床面付近からは櫛歯条線文土器・「瘤付き」土器４点などを出土した。

土坑22基の内、11基は縄文時代の陥し穴と捉えられる「Ｔピット」で、８基は２～３基ずつの対をなし、「ケモノ道」を想定したラインに沿って列をなして検出した。

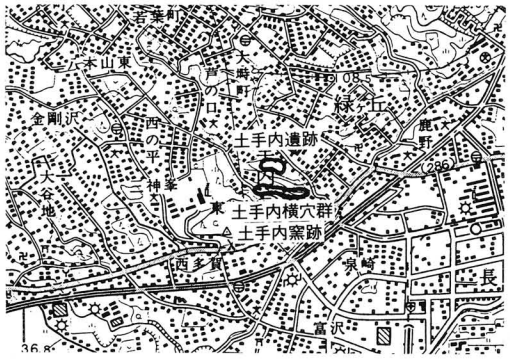
土塁は、整地した緩斜面帯を上部からとり囲むように、全長100mほどで「コの字」形に巡り、城館にかかる遺構であろうが、時代は不明である。

堤は、荒井沢を堰き止めるように、上端幅５～10m、下端幅13～21m、高さ3.2～4.0mで東西76mに及び、中央やや東側で決壊している。文政年間に描かれた〔名取郡北方茂庭村絵図〕、明治初年に編纂された「皇国地誌」の検討から、文政年間以後、19世紀中頃に築造されて決壊した「空池」跡と捉えられる。

調査区全景（東より）

SI01住居跡全景（西より）

［10］土手内遺跡・土手内窯跡・土手内横穴群B地点



1．調 査 地　仙台市太白区土手内一丁目地内

2．調査期間　平成元年４月17日～11月13日

3．調査面積　約45,600㎡

4．調 査 員　熊谷幹男、主浜光朗

5．調査の概要

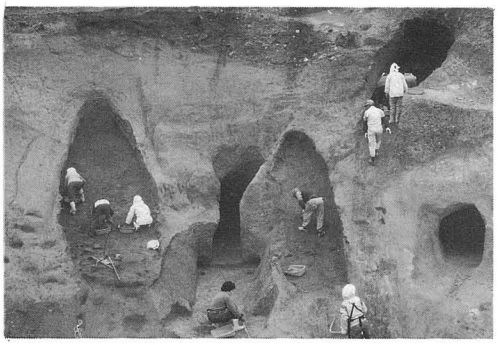
本遺跡は、東北線長町駅の西方約２km付近に位置し、縄文時代前期の集落跡である三神峯遺跡の存在する丘陵と金洗沢を隔てて向い側の丘陵にあたり、丘陵頂部付近に土手内遺跡、南東斜面裾部に土手内窯跡、土手内横穴群B地点が所在している。

今回の発掘調査は、宅地造成に伴う事前調査であり、前記３遺跡全てが造成地域内に含まれている。

土手内遺跡は、標高65～70m以上の丘陵頂部付近にあり、調査の結果、竪穴住居跡11軒、土坑37基等の遺構が検出された。竪穴住居跡は、一辺が３～６mの方形を呈しており、床面中央～西側に炉が施設されたもの、北壁にカマドが施設されたものがある。また住居跡内の周溝から住居跡外へ延びる溝（外延溝）が検出されたものもある。出土遺物から古墳時代前期～中期のものであると考えられる。土坑は、壁面が火熱を受けた痕跡が明瞭なものが多いが、出土遺物が少なく詳細は不明である。その他に縄文時代・弥生時代の遺構・遺物が検出されている。

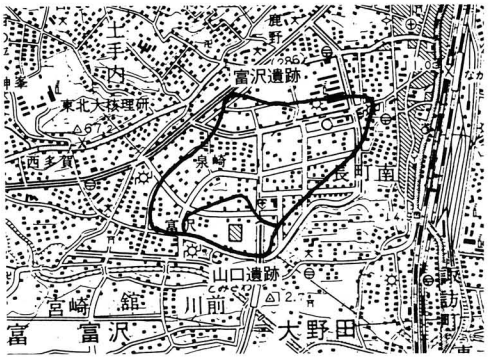
土手内窯跡・横穴群B地点は、標高30～40mの南斜面裾部にあり、あな窯３基、横穴墓８基が検出された。窯跡と横穴墓が重複しているものがあり、横穴墓が窯跡より新しいことが判明している。窯跡からは須恵器片及び須恵器片を利用した焼台が検出されており、須恵器専用窯であると考えられる。横穴墓からは土師器・須恵器の他、鉄製品が出土している。窯跡・横穴墓は、その出土遺物、重複関係からそれぞれ古墳時代後期～末期、古墳時代末期～奈良時代頃と考えられる。

土手内遺跡集落跡全景



土手内窯跡及び横穴群

[11] 富沢・山口遺跡

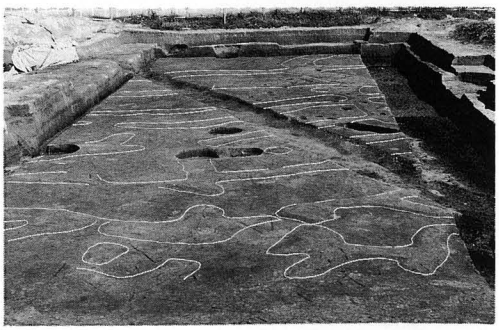


今年度の富沢地区の調査は、富沢遺跡で９地点（第35・50～57次）、山口遺跡で３地点（第10～12次）が実施された。富沢遺跡の内、別掲載の第35次調査区を除く８地点では、前年度同様に弥生時代から近代までの各時期の水田跡あるいは水田土壌の可能性のある層が検出されている。水田跡が検出されているのは、第52・53・54・57次調査区であるが、水田区画が検出されたものは少なく、畦畔のみの検出例が多い。この内、第53次調査区は約17㎡と狭い調査区であったが、２時期の水田区画が検出されている。いずれも弥生時代の水田跡で、区画面積は下層のものが２㎡以下、上層のものが１㎡未満と極めて小さい。両水田跡は北方第28次調査区で検出された桝形囲式期及びこれに後続する時期のもので、この調査区によって南側への水田域の広がりが面的に確認された。山口遺跡では昨年よりの継続調査が行われていた第10次調査区で、弥生時代の水田跡が検出されている。昨年度調査では上層で奈良時代の住居跡が検出されており、この地点の土地利用のありかたが時代と共に大きく変化することが認められた。また、今回の弥生時代の水田跡の検出例は、山口遺跡内では初めてであった。

調　査　要　項

調査次数	所　在　地	調　査　期　間	調査面積	調　査　員
富沢 第50次	長町七丁目23-13	５月22日～５月27日	約 12㎡	佐藤　淳
富沢 第51次	泉崎二丁目19-8	６月12日～７月22日	約 37㎡	佐藤甲二
富沢 第52次	長町南三丁目14-7	６月15日～７月28日	約107㎡	中富　洋
富沢 第53次	長町南三丁目10-3	７月19日～７月28日	約 17㎡	佐藤甲二
富沢 第54次	長町南三丁目7-1	８月22日～９月26日	約 90㎡	中富　洋
富沢 第55次	泉崎一丁目20	８月23日～９月１日	約 18㎡	佐藤甲二
富沢 第56次	泉崎一丁目7-16・17・25	９月20日～９月25日	約 20㎡	佐藤甲二
富沢 第57次	長町南四丁目5-6～8	10月23日～12月１日	約 75㎡	太田昭夫・中富　洋
山口 第10次	富沢一丁目8-5	４月13日～６月２日	約530㎡	中富　洋
山口 第11次	富沢一丁目12	５月８日～５月23日	約 43㎡	佐藤甲二
山口 第12次	富沢一丁目5-20	10月５日～11月24日	約114㎡	佐藤甲二

富沢遺跡第53次調査10層水田跡（弥生時代）



山口遺跡第10次調査８層水田跡（弥生時代）

[12] 富沢遺跡（第35次調査）

1．調 査 地　仙台市太白区長町南一丁目2-3　　3．調査面積　約1,800㎡

2．調査期間　平成元年４月25日～12月15日　　4．調 査 員　佐藤甲二、平間亮輔、渡辺雄二

5．調査の概要

今年度は２年次にわたる調査の２年目で、調査区は昨年度の南側に隣接する地点である。

１年目の調査では弥生時代から近世まで計16期の水田跡が検出されたが、今年度は新たに２期の水田跡が検出されたため、総合すれば計18期の水田跡が検出されたことになる。

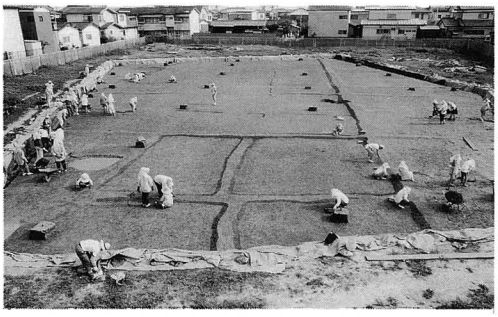
各時期の水田跡の概要は以下のとおりである。

１）中世（5･6層）　一辺が５～15m程度の区画が多く、真北方向を基準としている。６層水田跡では部分的に下層の水田の大畦畔を踏襲している。

２）平安時代（7～12層）　真北方向及びそれに直交する大畦畔を基準として区画されている。区画は一辺が10～15m程度のものが多い。大畦畔は条里型土地割において坪境を示す畦畔であると推定され、これが12層から７層の時期まで踏襲されることから条里型土地割が長期間に及んで存続したことが予想される。

３）古墳時代（15層）　南小泉式期に属すると推定される。水路や大畦畔によって一辺20～40mくらいの大区画を作り、さらにその中を一辺1.5～4.5m程度の小区画に分けている。この水田跡は第15次調査7a層水田跡に対応するが、今回の調査でその水田域は東西70m以上、南北180m以上にわたることが確認された。

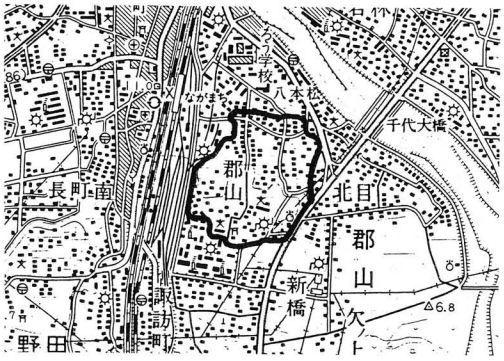
４）弥生時代（18･22a･23a･24･25･26層）　弥生時代の水田跡は６期の変遷が認められたが耕作土が調査区全面に認められる場合と耕作域・非耕作域に分かれる場合とがあり、各期においてそれぞれ水田域が異なっていることが確認された。



12 層 水 田 跡

15 層 水 田 跡

［13･14］郡山遺跡（第84次・85次調査）



1．調 査 地　第84次：太白区郡山六丁目231
　　第85次：太白区郡山五丁目46-1
2．調査期間　平成元年７月13日～12月４日
3．調査面積　第84次:229.3㎡、第85次:625.5㎡
4．調 査 員　斎野裕彦
5．調査の概要

郡山遺跡は、仙台市東南部の太白区郡山二～六丁目に所在し、JR仙台駅の南南東約５kmにある。この第84次・85次調査は、当地における宅地造成工事に伴ない行なわれたものである。調査では、方四町Ⅱ期官衙南辺と、郡山廃寺中枢伽藍の中間に位置する。

(1)　第84次調査：Ⅱa層、Ⅱb層、Ⅱc・Ⅱd層、Ⅱd層の各層上面で遺構が検出された。

Ⅱa層上面：平安時代の遺構面。土坑５基、性格不明遺構３基、ピット63基が検出された。

Ⅱb層上面：Ⅱa層水田跡（平安時代）に伴なう擬似畦畔、段差が検出されている。段差部分では、土器８個体が重なって出土している。

Ⅱc・Ⅱd層上面：小溝状遺構群が検出されている。

Ⅱd層上面：官衙期の遺構面。掘立柱建物跡１棟、竪穴住居跡３棟、土坑４基、性格不明遺構１基、溝跡１条、ピット69基が検出された。

(2)　第85次調査：Ⅲ層上面で官衙期の遺構が検出され、Ⅲ層中からは弥生時代の遺物が出土している。

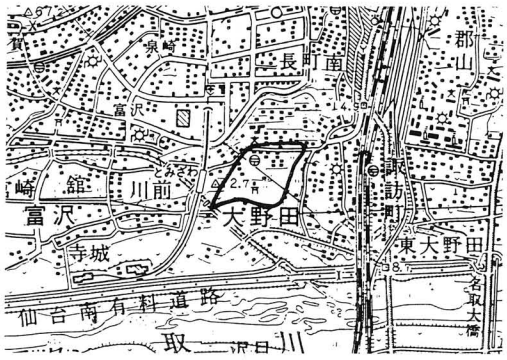
Ⅲ層上面：掘立柱建物跡３棟（Ⅰ期２棟、Ⅱ期１棟）、溝跡１条、性格不明遺構２基、ピット40基が検出された。Ⅱ期の建物は８間×５間の四面廂付東西棟である。

Ⅲ層中出土遺物：桝形囲式の土器約400点（全て破片）、石器約100点が出土。またⅢ層の水洗選別によりチップ約400点が検出されている。

第84次・Ⅱ層水田跡遺物出土状況

第85次・Ⅲ層上面全景

［15］大野田古墳群



1．調 査 地　仙台市太白区大野田字千刈田
2．調査期間　平成元年10月25日～12月27日
3．調査面積　約600㎡
4．調 査 員　主浜光朗
5．調査の概要

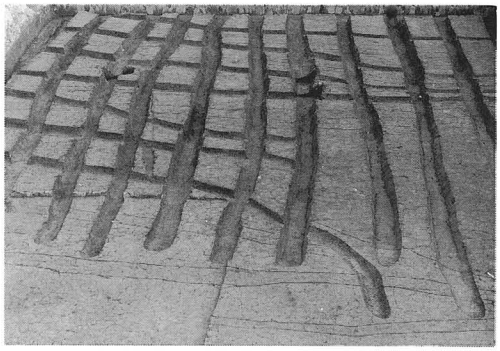
本古墳群は、東北線長町駅の南西約２km付近に位置し、南側の名取川及び北側の笊川によって形成された自然堤防及び後背湿地に立地している。本古墳群は春日社古墳、王ノ壇古墳の２基の古墳が残存しているのみで、他の古墳は既に墳丘が削平されている。現在のところ両者を含めて８基の古墳が確認されている。本古墳群をとり囲むように、六反田遺跡、下ノ内遺跡、伊古田遺跡、王ノ壇遺跡など、集落跡等の遺跡が確認されている。

今回の調査区は、大野田古墳群の西部にあたり、Ⅰ～Ⅶ層までの基本層が確認された。Ⅴ層及びⅥ層上面で遺構が検出されたが古墳は検出されなかった。

Ⅴ層上面では、溝跡１条、小溝状遺構群が検出された。小溝状遺構群は溝の方向がほぼ南北方向であるが、それぞれの規模には統一性や規格性はみられなかった。

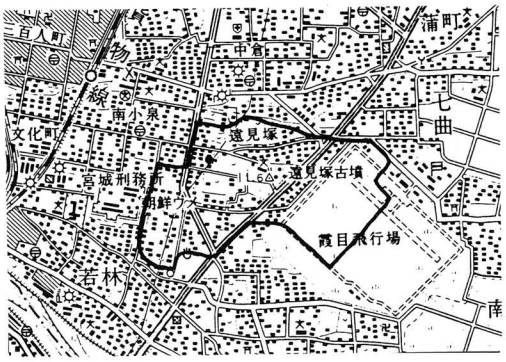
Ⅵ層上面では、竪穴遺構１基、土坑６基、溝跡１条、小溝状遺構群７群、ピット多数が検出された。小溝状遺部群は調査区の北部及び南部で検出され、それぞれ４群、３群があり、北部のものは、竪穴遺構を切るもの、竪穴遺構を避けているものがある。方向は北向が南－北、東－西で、南部では北東－南西、北西－南東である。規模は南部のものが溝の規模、間隔ともに大きくなっている。この小溝状遺構群は畠跡と考えられるものである。

出土遺物は、土師器、須恵器、埴輪片、石製品等がありそれらの特徴から古墳時代のものであると考えられ、遺構の年代も同様の年代であると考えられる。


調査区北側の小溝状遺構群

調査区南側の小溝状遺構群

［16］南小泉遺跡（第19次）



1．調 査 地　仙台市若林区遠見塚一丁目204他

2．調査期間　平成元年11月13日～12月12日

3．調査面積　約300㎡

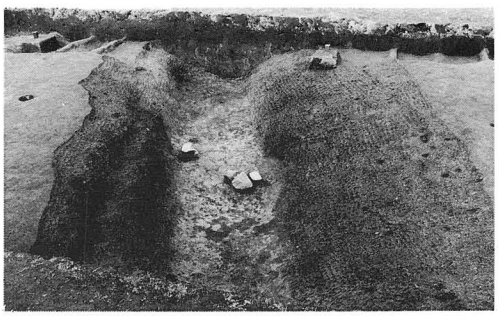
4．調 査 員　佐藤　淳

5．調査の概要

南小泉遺跡は仙台市街地の南東部、広瀬川によって形成された自然堤防上に立地している。調査地区の基本層は現代の耕作土のⅠ、Ⅱ層と、遺構検出面である黄褐色砂質シルト層のⅢ層で、各層とも３層に分層された。調査区は造成地区の道路部分であった為に、小規模なものであったが、調査の結果、土壙４基、溝跡２条、井戸跡１基、掘立柱建物跡３棟、性格不明遺構５基の他、段差のある旧地形や150以上のピットが検出された。１号溝跡は上端幅3.5mの大溝で、方向は真北とほぼ一致しており、溝底面から中世陶器が出土した。３棟の掘立柱建物跡は、規模に違いはみられるが、大溝の両側に接するかたちで、溝と梁行方向を合わせた東西棟建物跡であることから、溝と建物はほぼ同一時期の可能性が考えられる。また井戸跡は上端径1.7m、深さ3.5mの素掘りのもので、底面近くより板状木製品、近世陶器、漆器が出土した。

全体の出土遺物としては、その殆どが古墳時代の土師器にもかかわらず、この時期と判断される遺構は見られなかった。その他の出土遺物としては、ロクロ使用の土師器、土師質土器、鉄製品、石製品などがある。また今回の調査では遺構検出面であったⅢ層中より遺物の出土がみられた。残念ながら遺構の検出は無かったが、Ⅲb層中より多くの縄文土器片（大洞A′式）や、石器、剝片などが出土したことは、自然堤防上にある本遺跡の性格を考える上で重要なものである。

調 査 区 全 景



１号溝跡完掘状況

3．普及啓蒙係関係

私たちの祖先は、豊かできびしい自然の中で生き続けてきた。その対話の中から創造し、はぐくんできた文化遺産は、現代に生きる私たちに人間としての生き方・未来へのあり方を示し、多くの教訓を語りかけてくれている。

これらの文化遺産を自らの五感を通して体験してもらおうと、今年度も多くの行事を実施した。そのいくつかを紹介する。

(1) 発掘体験学習

むかしの人々の生活・歴史の体験を通し、郷土（自分たちの住む身近なところ）にも教科書と同様の歴史が連綿と続いていることに気付かせ、歴史学習をいっそう身近なものとしてとらえることができると思われる。

今年度は、仙台市立大野田小学校、仙台市立郡山中学校、仙台市立郡山小学校に協力を依頼し、年間の行事として体験学習を実施した。

① 事前見学（年間を見通した学習内容の確認と事実の把握）

② 事前指導（市内の遺跡についての学習、発掘調査に対する意識の高揚と確認）

③ 実体験（調査現場において実際に体験する） －王ノ壇遺跡、郡山遺跡－

④ 事後見学（実体験の場を再度見学し、一年の学習のまとめをする）

「土」を通しての触れ合い －今後とも教科書では学ぶことのできない生きた学習の場を提供することにより、地域に学ぶ児童・生徒は、自分たちの住む郷土を知るとともに、先人の努力・工夫等についても理解できると考えます。

大野田小学校

郡山小学校

さらに、児童・生徒の体験学習だけでなく、文化財についてさらに理解を深めるためと北仙台小学校６年ＰＴＡ、鶴谷東小学校社会学級の方々も実体験を行った。

⑵　夏休み親子体験学習

「土器作りにチャレンジしよう」に市内の親子24組が参加し、富沢遺跡整理事務所と山田上ノ台遺跡で展開された。実日数は２日間であったが、乾燥の期間を含めると約１ケ月間の長期におよぶ体験学習であった。参加者は、なかなか体験することのできない貴重な体験とあって一人一人真剣な表情で取り組んでいた。

土器製作の様子

野焼直前の様子

⑶　夏休み親子文化財めぐり

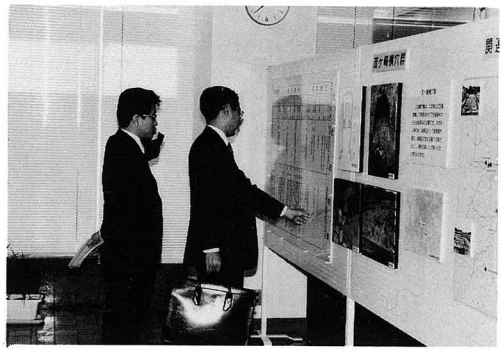
今年度は、“新たに仙台市となった地域の文化財をたずねてみよう”ということで、83名の参加者があった。講師に、郷土史家の逸見英夫氏をお迎えし、秋保大滝、諏訪神社、賀茂神社などを見学した。

諏訪神社の見学

(4) 考古展並びに講演会

甦る城柵－郡山遺跡発掘10年－をテーマに12月４日～９日までの６日間、市役所本庁舎企画展示室において実施した。10年の調査成果をみようと期間中1,000人近い方々が見学に訪れた。

同時に開催した講演会では、多賀城跡調査研究所長　桑原滋郎氏が「郡山遺跡と陸奥国」と題し講演された。



見　学　風　景

講演される桑原滋郎氏

(5) 第12回文化財展　－発掘この１年－

３月12日～17日の６日間、太白区役所ロビーにおいて、今年度実施した文化財関係の調査及び事業について、写真パネルや出土した遺物を通してその成果を広く市民の方々に紹介した。今回は高柳遺跡、中在家南遺跡、郡山遺跡、土手内遺跡・土手内窯跡・土手内横穴墓、富沢遺跡、太白区内の遺跡紹介、普及活動の報告を中心に初めて区役所展を実施した。

(6) その他

① 記者発表・現地説明会を６現場で実施した。

② 広報機関紙として「広報文化財」31～34号を発行し、それぞれ10,000部を印刷し各関係機関に配布した。

平成元年度　普及活動実施一覧表

項目＼月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
考古展・文化財展									4日～9日 考古展 4日 講演会			12日～17日 第12回 文化財展
体験学習				**高柳遺跡** 5日 北仙台小6年ＰＴＡ **王ノ壇遺跡** 18日 大野田小6年生事前見学		**高柳遺跡** 12日 鶴谷東社会学級 **王ノ壇遺跡** 20日 大野田小6年生事前授業 21日 大野田小6年生体験学習	**郡山遺跡** 5日 郡山中1年生体験学習	**郡山遺跡** 1日 郡山小5年生体験学習 9・10日 郡山中1年生事後見学 **王ノ壇遺跡** 16日 大野田小6年生事後見学				
夏休み行事				親子体験学習 「土器作りにチャレンジしよう」 30日（一日目）　20日（二日目） 富沢30次整理事務所　山田上ノ台								
めぐり・講座					22日 親子文化財めぐり						17日「木ごころをしる」 25日民俗芸能のつどい　パート4	4日 「屋敷林の今・昔」 27日都市のゆくえ 17~31日 写真展
記者発表・現地説明会	**中在家南遺跡** 20日記者発表 22日 現地説明会		**下大倉館跡** 23日記者発表 24日現地説明会				**高柳遺跡** 5日記者発表 7日現地説明会 **富沢35次** 12日記者発表 14日現地説明会	**土手内遺跡・土手内窯跡** 6日記者発表 **郡山遺跡** 9日記者発表 11日現地説明会				
見学会			**土手内遺跡** 12日 鹿野小6年生 13日 芦口小6年生 14日 西多賀小6年生 **富沢35次** 16日仙台西高PTA **中在家南遺跡** 19日秋保小6年生	**茂庭けんとう城** 17日～31日 町内会、周辺小・中学校								
広報文化財		31			32			33			34	

4．新規登録の遺跡

今年度は高屋敷遺跡（C－311）・荒井畑中遺跡（C－312）・羽黒前遺跡（C－313）を発見し、登録した。

(1) 高屋敷遺跡（第１図）

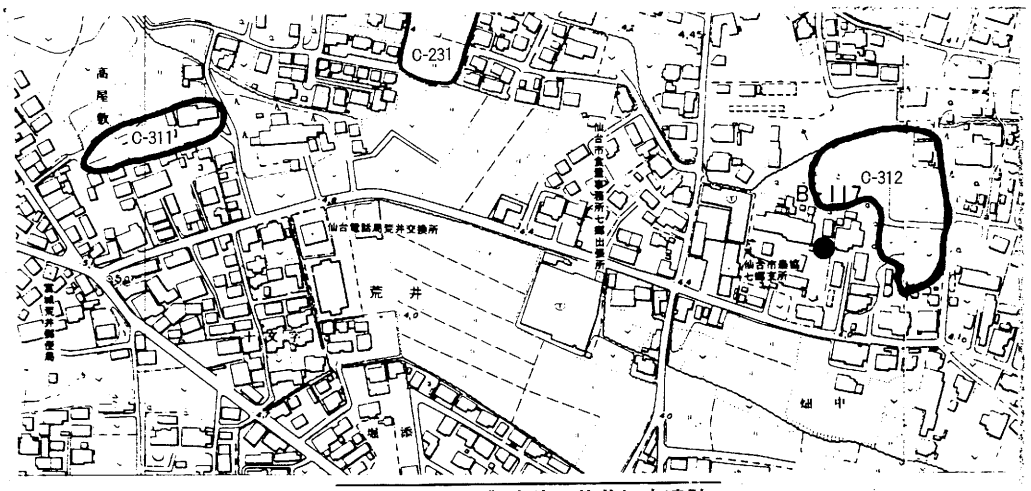
所在　若林区荒井字高屋敷22他

概要　試掘調査により古墳・奈良・平安時代の土師器・須恵器など数十点が出土した。

(2) 荒井畑中遺跡（第１図）

所在　若林区荒井字畑中43

概要　試掘調査により弥生土器、奈良・平安時代の土師器・須恵器など数十点が出土した。また掘立柱建物跡の一部と考えられる掘方が検出された。



第１図　高屋敷遺跡・荒井畑中遺跡

(3) 羽黒前遺跡（第２図）

所在　宮城野区岩切字羽黒前、利府町神谷沢字金沢

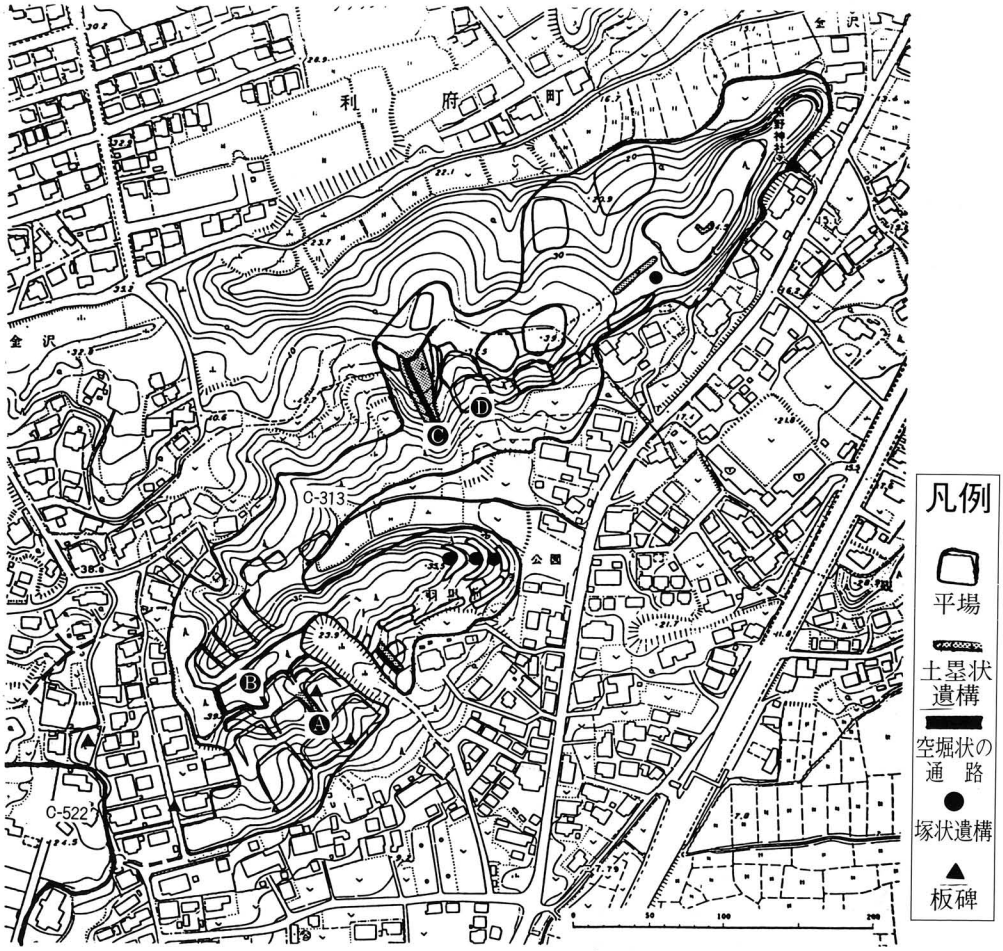
概要　分布調査（利府町教育委員会及び佐藤正人氏との合同調査を含む）で得た成果の概要は以下の通りである。

遺跡は北東に延びる二つの舌状小丘陵上に立地している。地表で観察しうる遺構は南面部に多い。確認された遺構は平場（30）・通路状の空堀（2）・土塁状遺構（5）・塚状遺構（3）・板碑（３地点５基）などである。但し遺構の形状・規模については今後の調査・検討が必要である。

南側の丘陵の南斜面には３～４段に段切りした平場が三列に並んでいる。これらの平場には隣合う平場を土塁状遺構で画された地点（A）もある。平場の一辺の長さは10～20数m

である。さらにこの段切りした平場を登りつめると丘陵頂部には西側を溝状遺構に画された平場がある(B)。規模は南北約30ｍ・東北60ｍ以上を計る。この平場は溝状遺構の西側に延びているようであるが現状は宅地化されてしまっていて不明である。北側の丘陵では土塁状遺構の間の通路状の空堀(C)を登ると大小の平場が見られるが、南側の丘陵のような段切りした平場は南斜面の一部にのみ見られる(D)。

これらの遺構の年代は地表観察の限りにおいては第一に平場に板碑が２地点見られること。第二に別な平場には近世墓碑が見られること。第三に段切りした平場は平安時代末から中世に見られることが東日本の発掘調査成果で知られること。以上から当遺跡は中世から近世の遺跡である可能性がある。なお登録後の検討の結果、当遺跡の西側の隣接地で板碑が２地点５基確認されること。昭和22年等の航空写真で平場状の地形が観察されることなどから当遺跡の範囲は西方及び若宮前遺跡に連続すると考えられる。



第２図　羽黒前遺跡

仙台市内にある指定文化財一覧表

（平成２年３月現在）

種別名	名称	所在地	所有者（管理者）	指定年月日
A） 建造物				
国宝	大崎八幡神社１棟　附棟札１枚	青葉区八幡四丁目 6-1	大崎八幡神社	昭27. 11. 22 (明36. 4. 15)
国指定重要文化財	大崎八幡神社長床１棟	青葉区八幡四丁目 6-1	大崎八幡神社	昭41. 6. 11
国指定重要文化財	陸奥国分寺薬師堂１棟 附厨子１基・棟札１枚	若林区木ノ下三丁目 8-1	陸奥国分寺	明36. 4. 15
国指定重要文化財	東照宮５棟 附厨子１基・棟札１枚　石灯籠３４基 本殿　唐門　透塀　鳥居　随身門	青葉区東照宮一丁目 6-1	東照宮	昭28. 3. 31
県指定有形文化財	東照宮手水舎１棟　附花崗岩造水盤	青葉区東照宮一丁目 6-1	東照宮	昭39. 9. 4
県指定有形文化財	白山神社本殿１棟	若林区木ノ下三丁目 9-1	白山神社	昭30. 3. 25
県指定有形文化財	落合観音堂１棟　附棟札１枚	太白区四郎丸字落合60	光西寺	昭44. 8. 29
県指定有形文化財	大崎八幡神社石鳥居１基	青葉区八幡四丁目 6-1	大崎八幡神社	昭45. 10. 30
県指定有形文化財	亀岡八幡神社石鳥居　附．鳥居額	青葉区川内亀岡町62	亀岡八幡神社	昭45. 10. 30
県指定有形文化財	宮城県知事公館正門１棟 (旧仙台城門)	青葉区広瀬町 5-43	宮城県	昭46. 11. 9
県指定有形文化財	旧仙台城板倉２棟	宮城野区岩切字三所北16	日野正一	昭53. 5. 2
県指定有形文化財	陸奥国分寺薬師堂仁王門１棟	若林区木ノ下三丁目 8-1	陸奥国分寺	昭50. 4. 30
県指定有形文化財	諏訪神社本殿　附．棟札１２枚	青葉区上愛子字宮下40	諏訪神社	昭38. 7. 2
県指定有形文化財	賀茂神社本殿２棟　附棟札２枚	泉区古内字糺 1	賀茂神社	昭39. 9. 4
市指定有形文化財	善応寺開山堂１棟	宮城野区燕沢二丁目 3-1	善応寺	昭43. 2. 15
市指定有形文化財	旧第四連隊兵舎１棟	宮城野区五輪一丁目 3-7	仙台市	昭53. 6. 16
市指定有形文化財	旧伊達邸１棟	太白区茂庭字人来田西143-3	仙台市	昭58. 12. 1
市指定有形文化財	大年寺惣門１棟	太白区茂ヶ崎四丁目	(仙台市)	昭60. 9. 4
市指定有形文化財	成覚寺山門（旧浄眼院殿霊屋門）１棟	若林区新寺三丁目10-12	成覚寺	昭61. 12. 20
市指定有形文化財	荘厳寺山門１棟	青葉区新坂町12-1	荘厳寺	昭61. 12. 20
市指定有形文化財	輪王寺山門１棟	青葉区北山一丁目 6番街区	輪王寺	昭61. 12. 20
市指定有形文化財	大満寺虚空蔵堂１棟附．厨子１基	太白区向山四丁目17-1	大満寺	昭62. 3. 30
市指定有形文化財	大願寺山門（旧万寿院殿霊屋門）１棟	青葉区新坂町 7-1	大願寺	昭62. 3. 30
市指定有形文化財	泰心院山門１棟 (旧仙台藩藩校養賢堂正門)	若林区南鍛冶町 100	泰心院	昭62. 3. 30
市指定有形文化財	宇那禰神社本殿１棟附．棟札５枚	青葉区芋沢字明神12	宇那禰神社	昭62. 11. 1 (昭47. 12. 27) (昭48. 11. 20)
市指定有形文化財	臨済院地内弁財天堂並びに堂地１棟	青葉区国見ヶ丘四丁目	千田定雄ほか	昭62. 11. 1 (昭62. 9. 11)
市指定有形文化財	小滝沢橋１	太白区秋保町馬場字駅	仙台市	昭63. 3. 1 (昭58. 8. 1)
市指定有形文化財	旧熊谷家住宅１棟	泉区福岡字岳山 9-5	仙台市	昭63. 3. 1 (昭61. 4. 1)

種別名	名称	所在地	所有者（管理者）	指定年月日
B）彫刻				
国指定重要文化財	木造釈迦如来立像１軀	青葉区八幡四丁目 8-32	龍宝寺	明36. 4.15
県指定有形文化財	木造十二神将１２軀	若林区木ノ下二丁目 4-1	陸奥国分寺	昭34. 8.31
県指定有形文化財	聖観音１軀	若林区新寺三丁目10-12	成覚寺	昭49. 4.30
県指定有形文化財	木造毘沙門天立像１軀	若林区木ノ下二丁目 4-1	陸奥国分寺	昭50. 4.30
県指定有形文化財	木造不動明王立像１軀	若林区木ノ下二丁目 4-1	陸奥国分寺	昭50. 4.30
県指定有形文化財	木造十一面観音立像１軀	泉区高森三丁目4-109	菊谷 美津子	昭51. 3.29
県指定有形文化財	木造阿弥陀如来立像１軀	若林区新寺三丁目 5-3	阿弥陀寺	昭55. 5.30
県指定有形文化財	木造阿弥陀如来立像１軀	泉区福岡字阿弥陀堂前 21	早坂 忠治	昭40. 5.18
市指定有形文化財	木造釈迦如来坐像１軀	青葉区北山一丁目14-1	輪王寺	昭51. 7. 1
市指定有形文化財	木造釈迦如来立像１軀	青葉区茂庭字網木裏山4	大梅寺	平 2. 3.19
市指定有形文化財	木造毘沙門天立像１軀	青葉区茂庭字網木裏山4	大梅寺	平 2. 3.19
市指定有形文化財	木造安国上人坐像１軀	若林区土樋一丁目11-16	真福寺	平 2. 3.19
市指定有形文化財	木造宝冠釈迦如来坐像１軀	青葉区国見一丁目15-1	壽徳寺	平 2. 3.19
C）絵画				
県指定有形文化財	宮城県庁門前図１点	青葉区川内元支倉34-1	宮城県（美術館）	昭48. 1.16
県指定有形文化財	松島五大堂図１点	青葉区川内元支倉34-1	宮城県（美術館）	昭48. 1.16
県指定有形文化財	松島図１点	青葉区川内元支倉34-1	宮城県（美術館）	昭48. 1.16
県指定有形文化財	清海曼荼羅図１幅 附．浄土清海曼荼羅略記袋中著	若林区新寺三丁目10-12	成覚寺	昭49. 4.30
市指定有形文化財	紙本著色伊達政宗画像１幅 狩野探幽筆	青葉区川内三の丸跡（市博物館）	仙台市（博物館）	昭44. 7.31
市指定有形文化財	菜絵和歌屏風２双	青葉区川内三の丸跡（市博物館）	仙台市（博物館）	昭51. 7. 1
市指定有形文化財	躑躅ヶ岡花見図屏風六曲半双	青葉区川内三の丸跡（市博物館）	阿部 和子	昭51. 7. 1
市指定有形文化財	菅井梅関水亭午餐図１幅	青葉区川内三の丸跡（市博物館）	仙台市（博物館）	昭51. 7. 1
市指定有形文化財	仙台城旧本丸及二ノ丸御殿 障壁画　5点 六曲屏風扇面図１双・二曲屏風扇面図１双・葵図１双・花木図６面・松に山鳥図４面	青葉区川内三の丸跡（市博物館）	仙台市（博物館）	昭60. 9. 4
市指定有形文化財	仙台藩歴代藩主及夫人肖像画 ３１幅２面	青葉区川内三の丸跡（市博物館）	仙台市（博物館）	昭60. 9. 4
市指定有形文化財	絹本著色霊照女、牡丹、芙蓉図 伊達綱宗筆　3幅	青葉区川内三の丸跡（市博物館）	仙台市（博物館）	昭60. 9. 4
市指定有形文化財	紙本著色河図之図　1幅 東東洋筆	青葉区川内三の丸跡（市博物館）	仙台市（博物館）	昭60. 9. 4
市指定有形文化財	銅板油彩悲しみのマリア像　1面	青葉区川内三の丸跡（市博物館）	仙台市（博物館）	昭60. 9. 4

種別名	名称	所在地	所有者（管理者）	指定年月日
D）書跡				
国宝	紙本墨書類聚国史　1巻	青葉区片平二丁目 1-1	国（東北大学保管）	昭27.11.22
国宝	紙本墨書史記　1巻	青葉区片平二丁目 1-1	国（東北大学保管）	昭27.11.22
市指定有形文化財	雲居禅師墨跡三幅対　3幅	青葉区茂庭字綱木裏山 4	大梅寺	昭51. 7. 1
E）工芸				
国指定重要文化財	太刀　1口	青葉区川内亀岡町62	亀岡八幡神社	大 3. 4.17
国指定重要文化財	白長覆輪太刀　1口	青葉区台原四丁目 8-15	杉山家	昭14. 5.27
国指定重要文化財	小紋染胴服　1	青葉区川内三の丸跡（市博物館）	仙台市（博物館）	昭53. 6.15
国指定重要文化財	伊達政宗所用具足　1領	青葉区川内三の丸跡（市博物館）	仙台市（博物館）	昭54. 6. 6
国指定重要文化財	豊臣秀吉所用具足　1領	青葉区川内三の丸跡（市博物館）	仙台市（博物館）	昭54. 6. 6
県指定有形文化財	銅鐘　1口	青葉区霊屋下23-5	瑞鳳寺	昭37. 6.28
県指定有形文化財	短刀	太白区根岸町 3-10	大竹左右吉	昭34. 8.31
県指定有形文化財	刀　1口	太白区根岸町 3-10	大竹左右吉	昭34. 8.31
県指定有形文化財	薙刀　1口	青葉区中央二丁目 3-24	本郷栄一郎	昭34. 8.31
県指定有形文化財	刀　1口	青葉区国分町二丁目 4-14	佐藤太志	昭34. 8.31
県指定有形文化財	刀　1口	青葉区一番町三丁目11-8	中川高	昭38. 8.31
県指定有形文化財	太刀　1口	青葉区一番町三丁目11-8	中川高	昭38. 8.31
県指定有形文化財	銅鐘　1口	泉区山の寺二丁目 3-1	洞雲寺	昭37. 6.28
市指定有形文化財	三沢初子所用帯　12条	青葉区川内三の丸跡（市博物館）	仙台市（博物館）	昭44. 7.31
市指定有形文化財	銅造十二神将像掛額　1面	若林区木ノ下三丁目 8-1	陸奥国分寺	昭51. 7. 1
市指定有形文化財	梵鐘　1口	太白区向山四丁目 4-1	大満寺	昭52. 3. 1
市指定有形文化財	仙台藩歴代藩主所用具足　11領	青葉区川内三の丸跡（市博物館）	仙台市（博物館）	昭60. 9. 4
市指定有形文化財	服飾類　伊達政宗所用 白綾地竜胆立涌浮模様狩衣1具・白絹地小袖1領・藍平絹地直垂1領・ 紫羅背板地五色水玉模様陣羽織1領・表袴1腰・大口袴1腰・錦織唐草紋竹に雀紋入野袴1腰 白綾地鶴甲金帯1条	青葉区川内三の丸跡（市博物館）	仙台市（博物館）	昭60. 9. 4
市指定有形文化財	孔雀羽根織込陣羽織　1領 伊達重村所用	青葉区川内三の丸跡（市博物館）	仙台市（博物館）	昭60. 9. 4
市指定有形文化財	茶杓　仙台藩歴代藩主作　61筒	青葉区川内三の丸跡（市博物館）	仙台市（博物館）	昭60. 9. 4
市指定有形文化財	仙台城旧本丸御殿金具　2個 魚々子地菊桐紋釘隠1個・魚々子地唐草紋釘隠1個	青葉区川内三の丸跡（市博物館）	仙台市（博物館）	昭60. 9. 4
市指定有形文化財	花鳥山水孔雀羽雪薄紋散蒔絵 十三弦琴　1面 附．黒漆松竹梅鶴亀蒔絵琴箱1合	青葉区川内三の丸跡（市博物館）	仙台市（博物館）	昭60. 9. 4

種別名	名称	所在地	所有者（管理者）	指定年月日
F） 考古資料				
国指定重要文化財	埴輪武装男子半身像１軀	青葉区台原四丁目 8-16	杉山家	昭15. 5. 3
国指定重要文化財	硬玉製有孔玉器１個	青葉区台原四丁目 8-16	杉山家	昭37. 2. 2
国指定重要文化財	埴輪甲２個，埴輪家残闕１個，埴輪円筒１個	青葉区片平二丁目 1-1	文部省（東北大学）	昭34. 6.27
国指定重要文化財	陸前国沼津貝塚出土品	青葉区片平二丁目 1-1	文部省（東北大学）	昭38. 7. 1
国指定重要文化財	硬玉磨製石斧	青葉区台原四丁目 8-16	杉山家	昭48. 6. 6
市指定有形文化財	伊達政宗墓所出土品	青葉区川内三の丸跡（市博物館）	仙台市（博物館）	昭60. 9. 4
G） 古文書				
市指定有形文化財	印章　仙台藩歴代藩主所用	青葉区川内三の丸跡（市博物館）	仙台市（博物館）	昭60. 9. 4
市指定有形文化財	伊達治家記録（仙台市博物館本）	青葉区川内三の丸跡（市博物館）	仙台市（博物館）	昭60. 9. 4
市指定有形文化財	伊達世臣家譜及続編（仙台市博物館本）	青葉区川内三の丸跡（市博物館）	仙台市（博物館）	昭60. 9. 4
市指定有形文化財	伊達出自正統世次考（仙台市博物館本） 附．御代々考考證　遊佐好生筆	青葉区川内三の丸跡（市博物館）	仙台市（博物館）	昭60. 9. 4
市指定有形文化財	奥州仙台領絵図	青葉区川内三の丸跡（市博物館）	仙台市（博物館）	昭60. 9. 4
市指定有形文化財	林子平自筆写本絵図類 附．六無斎遺詠	青葉区川内三の丸跡（市博物館）	仙台市（博物館）	昭60. 9. 4
市指定有形文化財	支倉家文書	青葉区川内三の丸跡（市博物館）	仙台市（博物館）	昭60. 9. 4
H） 歴史資料				
国指定重要文化財	慶長遣欧使節関係資料	青葉区川内三の丸跡（市博物館）	仙台市（博物館）	昭41. 6.11
県指定有形文化財	坤輿萬国全図	宮城野区榴ヶ岡 5	宮城県（図書館）	昭51. 3.29
市指定有形文化財	渾天儀	青葉区桜ヶ岡公園 1-1	仙台市（天文台）	昭45. 2.23
市指定有形文化財	象眼儀	青葉区桜ヶ岡公園 1-1	仙台市（天文台）	昭45. 2.23
市指定有形文化財	天球儀	青葉区桜ヶ岡公園 1-1	仙台市（天文台）	昭45. 2.23
市指定有形文化財	塵芥集（村田本）	青葉区川内三の丸跡（市博物館）	仙台市（博物館）	昭51. 7. 1
市指定有形文化財	晴宗公采地下賜録	青葉区川内三の丸跡（市博物館）	仙台市（博物館）	昭51. 7. 1
I） 金石文				
市指定有形文化財	芭蕉句碑	若林区木ノ下二丁目	陸奥国分寺	昭51. 7. 1
市指定有形文化財	大淀三千風供養碑	若林区木ノ下二丁目	陸奥国分寺	昭51. 7. 1
市指定有形文化財	芭蕉句碑	宮城野区榴ヶ岡23	榴岡天満宮	昭52. 3. 1
市指定有形文化財	原町苦竹の道知るべ石	宮城野区原町三丁目	仙　台　市	昭52. 3. 1

種別名	名称	所在地	所有者（管理者）	指定年月日
J） 無形文化財				
県指定無形文化財	精好仙台平	太白区根岸町15-5	甲田 綏郎	昭51. 3.29
K） 有形民俗文化財				
市指定有形民俗文化財	上前十三塚	太白区坪沼字上前４３番地のうち１４２５㎡の土地を含む	小池 政次郎	平 2. 3.19
L） 無形民俗文化財				
国指定重要無形民俗文化財	秋保の田植踊	太白区秋保町馬場，長袋，湯元	馬場の田植踊保存会 長袋の田植踊保存会 湯元の田植踊保存会	昭51. 5. 4
県指定無形民俗文化財	大崎八幡神社の能神楽	青葉区八幡四丁目	大崎八幡神社の能神楽保存会	昭47.10.11
県指定無形民俗文化財	愛子の田植踊	青葉区下愛子字町	愛子の田植踊保存会	昭35. 4.23
県指定無形民俗文化財	大倉の役人田植踊	青葉区大倉字明神前	大倉の役人田植踊保存会	昭35. 4.23
県指定無形民俗文化財	新川の田植踊	青葉区新川字北野尻	新川の田植踊保存会	昭35. 4.23
県指定無形民俗文化財	芋沢の田植踊	青葉区芋沢字明神	芋沢の田植踊保存会	昭35. 4.23
県指定無形民俗文化財	下倉の田植踊	青葉区大倉字宮前	下倉の田植踊保存会	昭46. 8. 3
県指定無形民俗文化財	川前の鹿踊・剣舞	青葉区芋沢字大竹原	川前の鹿踊・川前の剣舞保存会	昭48.11. 6
県指定無形民俗文化財	野口の鹿踊	太白区秋保町馬場	野口の鹿踊保存会	昭47.10.11
市指定無形民俗文化財	滝原の題拝	太白区秋保町馬場	滝原の題拝保存会	昭63. 3. 1 (昭51.11. 3)
市指定無形民俗文化財	馬場愛宕神社神楽	太白区秋保町馬場字北山 4	馬場愛宕神社神楽保存会	昭63. 3. 1 (昭61. 8. 1)
市指定無形民俗文化財	福岡の鹿踊・剣舞	泉区福岡字中在家43	福岡の鹿踊・剣舞保存会	昭63. 3. 1 (昭39.10.21)
市指定無形民俗文化財	上谷刈の鹿踊・剣舞	泉区古内字糺 1	上谷刈の鹿踊・剣舞保存会	昭63. 3. 1 (昭39.10.21)
市指定無形民俗文化財	大沢の田植踊	泉区泉ヶ丘三丁目5-23	大沢の田植踊保存会	昭63. 3. 1 (昭62. 8. 1)
M） 史跡				
国指定史跡	陸奥国分寺跡	若林区木ノ下二丁目、三丁目	仙台市ほか（仙台市）	大11.10.12
国指定史跡	陸奥国分尼寺跡	若林区白萩町	仙台市ほか（仙台市）	昭23.12.18
国指定史跡	林子平墓	青葉区子平町19-5	竜雲院（仙台市）	昭17. 7.21
国指定史跡	遠見塚古墳	若林区遠見塚一丁目、二丁目	仙台市ほか（仙台市）	昭43.11. 8
国指定史跡	岩切城跡	宮城野区岩切字入山ほか	仙台市ほか（仙台市）	昭57. 8.23
市指定史跡	善応寺横穴古墳群	宮城野区燕沢二丁目	善応寺	昭43. 2.15
市指定史跡	三沢初子の墓など	宮城野区榴ヶ岡五丁目 4	仙台市	昭47. 2. 1
市指定史跡	刀工本郷国包の墓所	若林区新寺二丁目 7-33	善導寺	昭55.10.20
市指定史跡	経ヶ峯伊達家墓所	青葉区霊屋下	仙台市ほか	昭59. 7.21
市指定史跡	西館跡	青葉区下愛子字館	沢口伝吉ほか	昭62.11. 1 (昭50.12.11)
市指定史跡	郷六城跡	青葉区郷六字庄子	安達久雄ほか	昭62.11. 1 (昭50.12.11)
市指定史跡	栽松院墓所	泉区根白石字館下	満興寺	昭63. 3. 1 (昭43. 3. 1)
市指定史跡	松森焔硝蔵跡	泉区南光台東二丁目35-8	仙台市	昭63. 3. 1 (昭62. 5. 1)

種別名	名称	所在地	所有者（管理者）	指定年月日
N） 名勝				
国指定名勝	秋保大滝	太白区秋保町馬場字大滝地内	建設省ほか（仙台市）	昭17. 3. 7
国指定名勝	磐司	太白区秋保町馬場字岳山地内	林野庁（仙台市）	昭20. 2.22
O） 天然記念物				
国指定天然記念物	苦竹のイチョウ	宮城野区銀杏町	永野ちとせ（仙台市）	大15.10.20
国指定天然記念物	朝鮮ウメ	若林区古城二丁目	法務省（宮城刑務所）	昭17. 9.19
国指定天然記念物	青葉山	青葉区荒巻字青葉12番の内	文部省（東北大学）	昭47. 7.11
国指定天然記念物	姉滝	太白区秋保町馬場字岳山	建設省（仙台市）	昭 9. 8. 9
県指定天然記念物	東昌寺のマルミガヤ	青葉区青葉町	東昌寺	昭30. 3.25
市指定天然記念物	霊屋下セコイヤ類化石林	青葉区米袋一丁目、三丁目、霊屋下	宮城県	昭48. 8. 6
市指定天然記念物	大梅寺のヒョクヒバ	青葉区茂庭字綱木裏山 4	大梅寺	昭52. 3. 1
市指定天然記念物	簪（かんざし）桜	青葉区下愛子字町 25-1 青葉区上愛子字上原 80	庄子善雄 庄子善吉	昭62.11. 1 (昭61. 5.30)
市指定天然記念物	ミズバショウ	泉区福岡字岳山	仙台市	昭63. 3. 1 (昭40. 5.12)
市指定天然記念物	鷲倉神社の神杉（姥杉）	泉区福岡字小山 117	鷲倉神社	昭63. 3. 1 (昭60. 4.25)
市指定天然記念物	賀茂神社のイロハモミジ	泉区古内字糺 1	賀茂神社	昭63. 3. 1 (昭60. 4.25)
市指定天然記念物	賀茂神社のタラヨウ	泉区古内字糺 1	賀茂神社	昭63. 3. 1 (昭60. 4.25)
市指定天然記念物	賀茂神社のアラカシ	泉区古内字糺 1	賀茂神社	昭63. 3. 1 (昭60. 4.25)

種別	有形文化財	無形文化財	有形民俗文化財	無形民俗文化財	史跡	名勝	天然記念物	合計
国宝	3	—	—	—	—	—	—	3
国指定	15	0	0	1	5	2	4	27
県指定	30	1	0	8	0	0	1	40
市指定	55	0	1	5	8	0	8	77
	103	1	1	14	13	2	13	147

文化財課職員録

課　長　　早坂　春一

管　理　係

係　長	鴇田　義幸
主　事	白幡　靖子
〃	山口　宏
〃	佐藤　良文
〃	高橋　三也

調査第一係

係　長	佐藤　隆
主　任	田中　則和
教　諭	太田　昭夫
主　任	篠原　信彦
〃	木村　浩二
主　事	吉岡　恭平
〃	斎野　裕彦
教　諭	橋本　光一
〃	高倉　祐一
主　事	大江美智代

調査第二係

係　長	加藤　正範
主　任	熊谷　幹男
教　諭	佐藤　好一
主　事	佐藤　洋
〃	金森　安孝
〃	佐藤　甲二
教　諭	小川　淳一
主　事	渡部　弘美
〃	工藤　哲司
〃	主浜　光朗
〃	長島　榮一
〃	工藤信一郎
〃	荒井　格
〃	中富　洋
〃	平間　亮輔
教　諭	渡辺　雄二
主　事	佐藤　淳
〃	渡部　紀

仙台市文化財調査報告書刊行目録

第　1集　天然記念物霊屋下セコイヤ化石林調査報告書（昭和39年４月）
第　2集　仙台城（昭和42年３月）
第　3集　仙台市燕沢善応寺横穴古墳群調査報告書（昭和43年３月）
第　4集　史跡陸奥国分尼寺跡環境整備並びに調査報告書（昭和44年３月）
第　5集　仙台市南小泉法領塚古墳調査報告書（昭和47年８月）
第　6集　仙台市荒巻五本松窯跡発掘調査報告書（昭和48年10月）
第　7集　仙台市富沢裏町古墳発掘調査報告書（昭和49年３月）
第　8集　仙台市向山愛宕山横穴群発掘調査報告書（昭和49年５月）
第　9集　仙台市根岸町宗禅寺横穴群発掘調査報告書（昭和51年３月）
第 10集　仙台市中田町安久東遺跡発掘調査概報（昭和51年３月）
第 11集　史跡遠見塚古墳環境整備予備調査概報（昭和51年３月）
第 12集　史跡遠見塚古墳環境整備第二次予備調査概報（昭和52年３月）
第 13集　南小泉遺跡－範囲確認調査報告書－（昭和53年３月）
第 14集　栗遺跡発掘調査報告書（昭和54年３月）
第 15集　史跡遠見塚古墳昭和53年度環境整備予備調査概報（昭和54年３月）
第 16集　六反田遺跡発掘調査（第２・３次）のあらまし（昭和54年３月）
第 17集　北屋敷遺跡（昭和54年３月）
第 18集　桝江遺跡発掘調査報告書（昭和55年３月）
第 19集　仙台市地下鉄関係分布調査報告書（昭和55年３月）
第 20集　史跡遠見塚古墳昭和54年度環境整備予備調査概報（昭和55年３月）
第 21集　仙台市開発関係遺跡調査報告Ⅰ（昭和55年３月）
第 22集　経ヶ峰（昭和55年３月）
第 23集　年報１（昭和55年３月）
第 24集　今泉城跡発掘調査報告書（昭和55年８月）
第 25集　三神峯遺跡発掘調査報告書（昭和55年12月）
第 26集　史跡遠見塚古墳昭和55年度環境整備予備調査概報（昭和56年３月）

第 27集　史跡陸奥国分寺跡昭和55年度発掘調査概報（昭和56年３月）
第 28集　年報２（昭和56年３月）
第 29集　郡山遺跡Ⅰ－昭和55年度発掘調査概報（昭和56年３月）
第 30集　山田上ノ台遺跡発掘調査概報（昭和56年３月）
第 31集　仙台市開発関係遺跡調査報告Ⅱ（昭和56年３月）
第 32集　鴻ノ巣遺跡発掘調査報告書（昭和56年３月）
第 33集　山口遺跡発掘調査報告書（昭和56年３月）
第 34集　六反田遺跡発掘調査報告書（昭和56年12月）
第 35集　南小泉遺跡－都市計画街路建設工事関係第１次調査報告（昭和57年３月）
第 36集　北前遺跡発掘調査報告書（昭和57年３月）
第 37集　仙台平野の遺跡群Ⅰ－昭和56年度発掘調査報告書－（昭和57年３月）
第 38集　郡山遺跡Ⅱ－昭和56年度発掘調査概報－（昭和57年３月）
第 39集　燕沢遺跡発掘調査報告書（昭和57年３月）
第 40集　仙台市高速鉄道関係遺跡調査概報Ⅰ（昭和57年３月）
第 41集　年報３（昭和57年３月）
第 42集　郡山遺跡－宅地造成に伴う緊急発掘調査－（昭和57年３月）
第 43集　栗遺跡（昭和57年８月）
第 44集　鴻ノ巣遺跡発掘調査報告書（昭和57年12月）
第 45集　茂庭－茂庭住宅団地造成工事地内遺跡発掘調査報告書－（昭和58年３月）
第 46集　郡山遺跡Ⅲ－昭和57年度発掘調査概要－（昭和58年３月）
第 47集　仙台平野の遺跡群Ⅱ－昭和57年度発掘調査報告書－（昭和58年３月）
第 48集　史跡遠見塚古墳昭和57年度環境整備予備調査概報（昭和58年３月）
第 49集　仙台市文化財分布調査報告Ⅰ（昭和58年３月）
第 50集　岩切畑中遺跡発掘調査報告書（昭和58年３月）
第 51集　仙台市文化財分布地図（昭和58年３月）
第 52集　南小泉遺跡－都市計画街路建設工事関係第２次調査報告（昭和58年３月）
第 53集　中田畑中遺跡発掘調査報告書（昭和58年３月）
第 54集　神明社窯跡発掘調査報告書（昭和58年３月）
第 55集　南小泉遺跡－青葉女子学園移転新営工事地内調査報告（昭和58年３月）
第 56集　仙台市高速鉄道関係遺跡調査概報Ⅱ（昭和58年３月）
第 57集　年報４（昭和58年３月）
第 58集　今泉城跡（昭和58年３月）
第 59集　下ノ内浦遺跡（昭和58年３月）
第 60集　南小泉遺跡－倉庫建築に伴う緊急発掘調査報告書－（昭和58年３月）
第 61集　山口遺跡Ⅱ－仙台市体育館建設予定地－（昭和59年２月）
第 62集　燕沢遺跡（昭和59年３月）
第 63集　史跡陸奥国分寺跡昭和58年度発掘調査概報（昭和59年３月）
第 64集　郡山遺跡Ⅳ－昭和58年度発掘調査概要－（昭和59年３月）
第 65集　仙台平野の遺跡群Ⅲ－昭和58年度発掘調査報告書－（昭和59年３月）
第 66集　年報５（昭和59年３月）
第 67集　富田水田遺跡－第１冊－泉崎前地区（昭和59年３月）
第 68集　南小泉遺跡－都市計画街路建設工事関係第３次調査報告（昭和59年３月）
第 69集　仙台市高速鉄道関係遺跡調査概報Ⅲ（昭和59年３月）
第 70集　戸ノ内遺跡発掘調査報告書（昭和59年３月）
第 71集　後河原遺跡（昭和59年３月）
第 72集　六反田遺跡Ⅱ（昭和59年３月）
第 73集　仙台市文化財分布調査報告書Ⅱ（昭和59年３月）
第 74集　郡山遺跡Ⅴ－昭和59年度発掘調査概報－（昭和60年３月）
第 75集　仙台平野の遺跡群Ⅳ（昭和60年３月）
第 76集　仙台城三ノ丸跡発掘調査報告書（昭和60年３月）
第 77集　山田上ノ台遺跡－昭和59年度発掘調査報告書－（昭和60年３月）
第 78集　中田畑中遺跡－第２次発掘調査報告書－（昭和60年３月）
第 79集　欠ノ上Ⅰ遺跡発掘調査報告書（昭和60年３月）
第 80集　南小泉遺跡－第12次発掘調査報告書－（昭和60年３月）
第 81集　南小泉遺跡－第13次発掘調査報告書－（昭和60年３月）
第 82集　仙台市高速鉄道関係遺跡調査概報Ⅳ（昭和60年３月）
第 83集　年報６（昭和60年３月）
第 84集　仙台市文化財分布調査報告書Ⅲ（昭和60年３月）
第 86集　宮城県仙台市愛宕山装飾横穴古墳発掘調査報告書（昭和60年８月）

第 86集　郡山遺跡Ⅵ（昭和61年３月）
第 87集　仙台平野の遺跡群Ⅴ－昭和60年度発掘調査報告書－（昭和61年３月）
第 88集　上野遺跡発掘調査報告書（昭和61年３月）
第 89集　仙台市高速鉄道関係遺跡調査概報Ⅴ（昭和61年３月）
第 90集　若林城跡－平安時代の集落跡－（昭和61年３月）
第 91集　東北電力鉄塔関係遺跡調査報告書（昭和61年３月）
第 92集　五城中北窯跡発掘調査報告書（昭和61年３月）
第 93集　仙台市文化財分布調査報告Ⅳ（昭和61年３月）
第 94集　年報７（昭和61年３月）
第 95集　柳生（昭和62年３月）
第 96集　郡山遺跡Ⅶ－昭和61年度発掘調査概報－（昭和62年３月）
第 97集　仙台平野の遺跡群Ⅵ－昭和61年度発掘調査報告書－（昭和62年３月）
第 98集　富沢遺跡（昭和62年３月）
第 99集　五本松窯跡発掘調査報告書（昭和62年３月）
第100集　山田上ノ台発掘調査報告書（昭和62年３月）
第101集　仙台市高速鉄道関係遺跡調査概報Ⅵ（昭和62年３月）
第102集　六反田遺跡発掘調査報告書（昭和62年３月）
第103集　元袋Ⅲ遺跡発掘調査報告書（昭和62年３月）
第104集　富沢遺跡－東北地方建設局長町宿舎建設工事に伴う発掘調査報告書－（昭和62年３月）
第105集　北前遺跡発掘調査報告書（昭和62年３月）
第106集　仙台市文化財分布調査報告書Ⅴ（昭和62年３月）
第107集　年報８（昭和62年３月）
第108集　春日社古墳・鳥居塚古墳発掘調査報告書（昭和62年８月）
第109集　南小泉遺跡－第14次発掘調査報告書－（昭和62年11月）
第110集　郡山遺跡Ⅷ－昭和62年度発掘調査概報－（昭和63年３月）
第111集　仙台平野の遺跡群Ⅶ－昭和62年度発掘調査報告書－（昭和63年３月）
第112集　東光寺遺跡発掘調査報告書（昭和63年３月）
第113集　富沢遺跡第24次調査報告書（昭和63年３月）
第114集　富沢遺跡第28次発掘調査報告書（昭和63年３月）
第115集　下ノ内浦遺跡発掘調査報告書（昭和63年３月）
第116集　燕沢遺跡（昭和63年３月）
第117集　富沢遺跡第33次発掘調査報告書（昭和63年３月）
第118集　富沢遺跡第34次発掘調査報告書（昭和63年３月）
第119集　泉崎浦遺跡発掘調査報告書（昭和63年３月）
第120集　錦ケ丘ニュータウン関連遺跡調査報告書（昭和63年３月）
第121集　仙台市文化財分布調査報告書Ⅵ（昭和63年３月）
第122集　年報９（昭和63年３月）
第123集　鴻ノ巣遺跡（平成元年３月）
第124集　郡山遺跡Ⅸ－昭和63年度発掘調査概報－（平成元年３月）
第125集　仙台平野の遺跡群Ⅷ－昭和63年度発掘調査報告書－（平成元年３月）
第126集　仙台市高速鉄道関係遺跡発掘調査報告書Ⅰ（平成元年３月）
第127集　上野遺跡－電力鉄塔関係発掘調査報告書（平成元年３月）
第128集　富沢・泉崎浦・山口遺跡－36～48次・４次・５～８次－（平成元年３月）
第129集　北前遺跡第３次発掘調査報告書（平成元年３月）
第130集　茂ケ崎横穴墓群（平成元年３月）
第131集　南小泉遺跡－第15次発掘調査報告書－（平成元年３月）
第132集　年報10（平成元年３月）
第133集　郡山遺跡Ⅹ－平成元年度発掘調査概報－（平成２年３月）
第134集　仙台平野の遺跡群Ⅸ－平成元年度発掘調査報告書－（平成２年３月）
第135集　富沢・山口遺跡－富沢遺跡50～57次・山口遺跡10～12次－（平成２年３月）
第136集　仙台市高速鉄道関係遺跡発掘調査報告書Ⅱ（平成２年３月）
第137集　茂庭けんとう域・東館跡発掘調査報告書（平成２年３月）
第138集　大野田古墳群発掘調査報告書（平成２年３月）
第139集　赤生津遺跡発掘調査報告書（平成２年３月）
第140集　南小泉遺跡－第16～18次発掘調査報告書（平成２年３月）
第141集　南小泉遺跡－第19次発掘調査報告書（平成２年３月）
第142集　東光寺・青葉山Ａ・富沢遺跡（平成２年３月）
第143集　年報11（平成２年３月）
第144集　仙台城址の自然（平成２年３月）

仙台市文化財調査報告書第143集

平成元年度

年　　報　　11

平成２年３月

発行　仙台市教育委員会

仙台市青葉区国分町３－７－１
仙台市教育委員会文化財課

印刷　針生印刷株式会社

仙台市若林区六丁の目１－３８
TEL ２８８－５０１１